

# BBEB Dictionary

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本製品には、読み取り専用の“メモリースティック-ROM”が使われています。データの記録はできません。

本製品は、BBEB Dictionary対応機器およびBBEB Dictionary対応ソフトウェアでのみお使いいただけます。対応機器をご確認のうえ、お使いください。



MEMORY STICK™

# BBEB-D011S



# 警告

# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

4ページの注意事項をよくお読みください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

- ① 本製品を挿入している機器の電源を切る（詳しくは、挿入している機器の取扱説明書をご覧ください）。
- ② お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する。

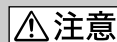
## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



### 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号




禁止



ぬれ手禁止

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

本製品に収録した各辞典の内容は、本書に記載の出版社および編者の著作物を各社のご協力を得て編集したものです。  
本製品に収録されているデータの一部または全部および本書に記載されている著作物（イラストや関連ドキュメント等）の一部または全部を無断で複製すること、および賃貸に使用することは、著作権法で禁止されています。  
また、個人としてご利用になるほかは、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。

- “Memory Stick” (“メモリースティック”)、 “Memory Stick-ROM” (“メモリースティック-ROM”) および  は、ソニー株式会社の商標です。
- “BBEB Dictionary” および “~~BBEB~~ Dictionary” はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは明記していません。

本製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



火災



感電

下記の注意事項を守らないと  
**火災・感電**により**死亡**  
**や大けが**の原因となります。

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の家財に**損害**を与えたりすることがあります。

### 乳幼児の手の届くところに置かない

この“メモリースティック-ROM”は小型のため飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



禁止



# 目次

△警告・△注意 .....	4
この取扱説明書について .....	7

## e-Book Readerで使う

“メモリースティック-ROM”内の辞書を選ぶ .....	9
リーダーズ英和辞典 第2版／カタカナ発音英単語検索辞典 を使う .....	10
新和英中辞典 第4版を使う .....	11
オックスフォード現代英英辞典 第6版を使う .....	12
オックスフォードコンサイス類語辞典を使う .....	13
最新 ビジネス英語スーパー辞典 英和・和英を使う .....	14
ビジネス技術 実用英語大辞典 英和・和英 第4版を使う .....	15
ひとり歩きの ビジネス英語自遊自在を使う .....	16
英会話とっさのひとこと辞典を使う .....	17
アクティブ英語会話表現辞典を使う .....	18
英語で話す「日本」Q&Aを使う .....	19
TOEIC®テスト攻略ボキャブラリー精選1200を使う .....	20
ペラペラ・旅行会話を使う .....	21
ドイツ会話と暮らしのハンドブック 新訂版を使う .....	22
フランス会話と暮らしのハンドブック 第2版を使う .....	23
世界の料理・メニュー辞典(6カ国編)を使う .....	24
ワインコンパニオンを使う .....	25
現代新語情報辞典 第4版を使う .....	26

決定版 経済用語事典を使う .....	27
新ビジネスマナー事典を使う .....	28
冠婚葬祭マナー事典を使う .....	29
あいさつ・スピーチ常識事典を使う .....	29
マルチ検索を使う .....	30

## その他

“メモリースティック-ROM”使用上のご注意 .....	31
辞典の内容について .....	32
リーダーズ英和辞典 第2版について .....	37
新和英中辞典 第4版について .....	59
オックスフォード現代英英辞典 第6版について .....	67
オックスフォードコンサイス類語辞典について .....	84
最新 ビジネス英語スーパー辞典 英和・和英について .....	88
ビジネス技術 実用英語大辞典 英和・和英 第4版について ...	90
アクティブ英語会話表現辞典について .....	94
世界の料理・メニュー辞典 (6ヶ国編) について .....	95
現代新語情報辞典 第4版について .....	97

## 資料

ワインコンパニオン .....	100
-----------------	-----

# この取扱説明書について

本書では、“メモリースティック-ROM”内に収録されている辞書の基本的な検索の種類を説明しています。

文字の入力や項目の選択のしかたなどの詳しい操作方法については、使用する機器の取扱説明書をご覧ください。

## 本機には次の辞書が収録されています

### 研究社

リーダーズ英和辞典 第2版／  
監修カタカナ発音英単語検索辞典  
新和英中辞典 第4版

### Oxford University Press

オックスフォード現代英英辞典  
第6版  
オックスフォードコンサイス類語  
辞典

### アルク

最新 ビジネス英語スーパー辞典  
英和・和英  
TOEIC®テスト  
攻略ボキャブラリー精選1200

### 日外アソシエーツ

ビジネス技術 実用英語大辞典  
英和・和英 第4版

### JTB

ひとり歩きの ビジネス英語自遊  
自在

### DHC

英会話とっさのひとこと辞典

### 旺文社

アクティブ英語会話表現辞典  
新ビジネスマナー事典  
冠婚葬祭マナー事典

### 講談社インターナショナル

英語で話す「日本」Q&A

### 三修社

監修ペラペラ・英米旅行会話  
監修ペラペラ・ドイツ旅行会話  
監修ペラペラ・フランス旅行会話  
監修ペラペラ・スペイン旅行会話  
監修ペラペラ・イタリア旅行会話  
ドイツ会話と暮らしのハンド  
ブック 新訂版  
フランス会話と暮らしのハンド  
ブック 第2版

## 学習研究社

監修世界の料理・メニュー辞典

(6カ国編)

現代新語情報辞典 第4版

## アートデータ

ワインコンパニオン

## PHP研究所

決定版 経済用語事典

## 主婦の友社

あいさつ・スピーチ常識事典

この取扱説明書に表示されている画面の内容は、改良のため、一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。




# “メモリースティック-ROM”内の辞書を選ぶ

## ご注意

本製品は、BBeB Dictionary対応機器およびBBeB Dictionary対応ソフトウェアでのみお使いいただけます。対応機器をご確認のうえ、お使いください。

- 1** お使いになる機器の“メモリースティック”スロットに“メモリースティック-ROM”を挿入し、[辞書選択] キーを押す。

収録されている辞書の一覧が表示されます。詳しくは本製品をお使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

- 2** 表示画面中の  をジョグダイヤルで移動させ、使いたい辞書を選ぶ。選んだらジョグダイヤルを押す。

選んだ辞書の表紙画面が表示されます。

それぞれの辞書の画面の指示に従い検索してください。

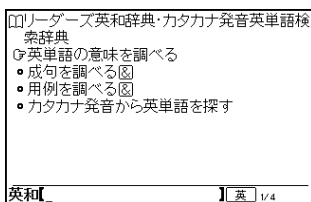
## ご注意

- お使いになる機器により、項目の選択のしかたや決定のしかたが説明と異なる場合があります。本製品をお使いになる機器の取扱説明書でご確認ください。
- 本製品には、読み取り専用の“メモリースティック-ROM”が使われています。データの記録はできません。

# リーダーズ英和辞典 第2版／カタカナ発音英単語検索辞典を使う

「リーダーズ英和辞典 第2版/カタカナ発音英単語検索辞典」では調べたい言葉を入力して検索することができます。

ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「英単語の意味を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に単語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索、あいまい検索で検索することができます。

## 「成句を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

## 「用例を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

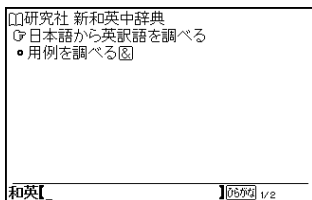
## 「カタカナ発音から英単語を探す」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に調べたい単語をカタカナ発音で入力します。前方一致検索で検索することができます。

💡 「リーダーズ英和辞典 第2版/カタカナ発音英単語検索辞典」については、37ページの「リーダーズ英和辞典 第2版について」もご覧ください。

# 新和英中辞典 第4版を使う

「新和英中辞典 第4版」では以下の方法で検索することができます。  
ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「日本語から英訳語を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に単語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

## 「用例を調べる」を選ぶと

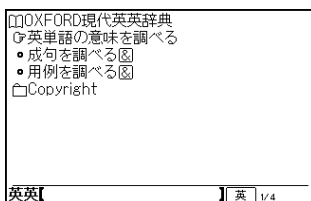
表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

💡 「新和英中辞典 第4版」については、59ページの「新和英中辞典 第4版について」もご覧ください。

# オックスフォード現代英英辞典 第6版を使う

「オックスフォード現代英英辞典 第6版」では以下の方法で検索することができます。

ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「英単語の意味を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に英単語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索、あいまい検索で検索することができます。

## 「成句を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

## 「用例を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

💡 「オックスフォード現代英英辞典 第6版」については、67ページの「オックスフォード現代英英辞典 第6版について」もご覧ください。

# オックスフォードコンサイス類語辞典を使う

「オックスフォードコンサイス類語辞典」では以下の方法で検索することができます。

ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「類語を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に英単語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索、あいまい検索で検索することができます。

## 「成句を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

## 「用例を調べる」を選ぶと

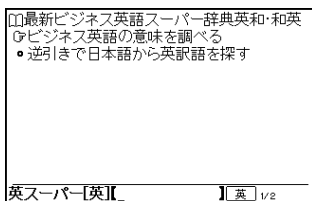
表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

💡 「オックスフォードコンサイス類語辞典」については、84ページの「オックスフォードコンサイス類語辞典について」もご覧ください。

# 最新 ビジネス英語スーパー辞典 英和・和英を使う

「最新 ビジネス英語スーパー辞典 英和・和英」では以下の方法で検索することができます。

ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「ビジネス英語の意味を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にビジネス英単語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索、あいまい検索で検索することができます。

## 「逆引きで日本語から英訳語を探す」を選ぶと

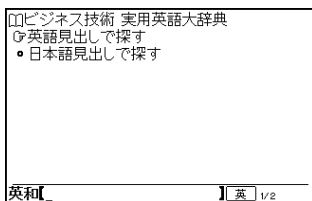
表紙画面下の検索文字入力欄に、日本語を入力し、ビジネス英単語を検索します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

💡「最新 ビジネス英語スーパー辞典 英和・和英」については、88ページの「最新 ビジネス英語スーパー辞典 英和・和英について」もご覧ください。

# ビジネス技術 実用英語大辞典 英和・和英 第4版を使う

「ビジネス技術 実用英語大辞典 英和・和英 第4版」では以下の方法で検索することができます。

ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「英語見出しで探す」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に英語見出しを入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索、あいまい検索で検索することができます。

## 「日本語見出しで探す」を選ぶと

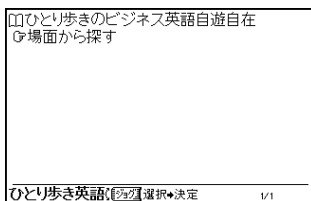
表紙画面下の検索文字入力欄に日本語見出しを入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。



「ビジネス技術 実用英語大辞典 英和・和英 第4版」については、90ページの「ビジネス技術 実用英語大辞典 英和・和英 第4版について」もご覧ください。

# ひとり歩きの ビジネス英語自遊自在を使う

「ひとり歩きの ビジネス英語自遊自在」では場面から検索することができます。



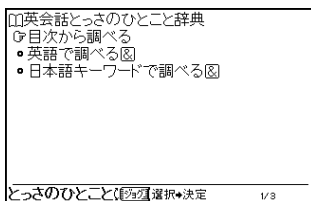
表紙画面でジョグダイヤルを押すと、目次画面が表示されます。ジョグダイヤルで調べたい場面を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。



# 英会話とっさのひとこと辞典を使う

「英会話とっさのひとこと辞典」では、以下の検索方法で調べることができます。

ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「目次から調べる」を選ぶと

目次画面が表示されます。

ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

## 「英語で調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に英単語を入力します。

キーワードとなる複数の単語を&で区切って検索することもできます。

## 「日本語キーワードで調べる」を選ぶと

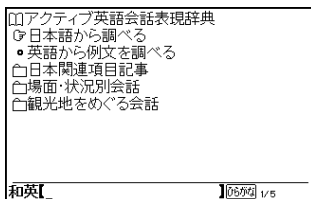
表紙画面下の検索文字入力欄に日本語キーワードを入力します。

キーワードとなる複数の日本語を&で区切って検索することもできます。

# アクティブ英語会話表現辞典を使う

「アクティブ英語会話表現辞典」では以下の方法で検索することができます。

ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「日本語から調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に言葉（日本語）を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

## 「英語から例文を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に英単語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索、あいまい検索で検索することができます。

## 「日本関連項目記事」を選ぶと

目次画面が表示されます。

ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

## 「場面・状況別会話」を選ぶと

場面の選択画面が表示されます。

ジョグダイヤルで希望の場面を選択します。

## 「観光地をめぐる会話」を選ぶと

観光地の選択画面が表示されます。

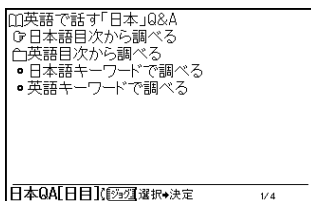
ジョグダイヤルで希望の観光地を選択します。

🔍 「アクティブ英語会話表現辞典」については、94ページの「アクティブ英語会話表現辞典について」もご覧ください。

# 英語で話す「日本」Q&Aを使う

「英語で話す「日本」Q&A」では、以下の検索方法で調べることができます。

ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「日本語目次から調べる」を選ぶと

目次画面が表示されます。

ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

## 「英語目次から調べる」を選ぶと

目次画面が表示されます。

ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

## 「日本語キーワードで調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に日本語キーワードを入力します。

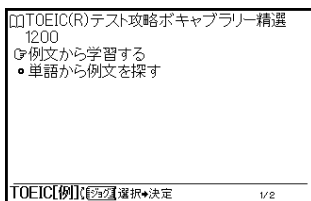
## 「英語キーワードで調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に英語キーワードを入力します。

# TOEIC®テスト攻略ボキャブラリー 精選1200を使う

「TOEIC®テスト攻略ボキャブラリー精選1200」では、以下の検索方法で調べることができます。

ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「例文から学習する」を選ぶと

目次画面が表示されます。

ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返し、検索しながら学習します。

## 「単語から例文を探す」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に調べたい英単語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索、あいまい検索で例文を検索することができます。

# ペラペラ・旅行会話を使う

(英米語／ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語)

「ペラペラ・旅行会話」では英米語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語の会話例を場面から検索することができます。

はじめに、目次画面から希望の言語を選びます。

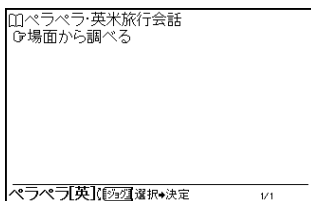
英米語の会話例を調べる時： ペラペラ・英米旅行会話

ドイツ語の会話例を調べる時： ペラペラ・ドイツ語旅行会話

フランス語の会話例を調べる時： ペラペラ・フランス語旅行会話

スペイン語の会話例を調べる時： ペラペラ・スペイン語旅行会話

イタリア語の会話例を調べる時： ペラペラ・イタリア語旅行会話



(表紙画面例：ペラペラ・英米旅行会話)

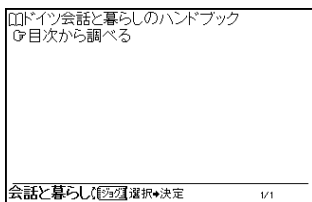
## 「場面から調べる」を選ぶと

表紙画面でジョグダイヤルを押すと、場面の一覧が表示されます。

ジョグダイヤルで調べたい場面を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

# ドイツ会話と暮らしのハンドブック 新訂版を使う

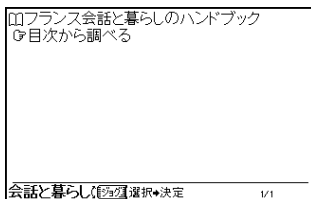
「ドイツ会話と暮らしのハンドブック 新訂版」では目次画面から検索することができます。



表紙画面でジョグダイヤルを押すと、目次画面が表示されます。ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

# フランス会話と暮らしのハンドブック 第2版を使う

「フランス会話と暮らしのハンドブック 第2版」では目次画面から検索することができます。

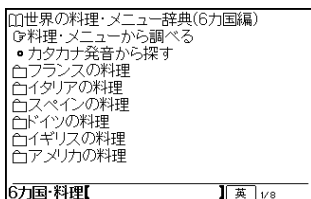


表紙画面でジョグダイヤルを押すと、目次画面が表示されます。ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

# 世界の料理・メニュー辞典 (6カ国編) を使う

「世界の料理・メニュー辞典 (6カ国編)」は、フランス、イタリア、スペイン、ドイツ、イギリス、アメリカの料理について、以下の検索方法で調べることができます。

ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「料理・メニューから調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に料理名を英語で入力して、6カ国の料理から検索します。

## 「カタカナ発音から探す」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に料理名をカタカナ発音で入力して、6カ国の料理から検索します。

## 「フランスの料理」、「イタリアの料理」、「スペインの料理」、「ドイツの料理」、「イギリスの料理」、「アメリカの料理」を選ぶと

表紙画面で希望の国の料理を選ぶと、それぞれの国の検索画面が表示されます。

～の料理について：

ジョグダイヤルを押すと、選んだ国の料理について詳しい説明が表示されます。

「料理・メニューから調べる」または「カタカナ発音から探す」：  
上記の同じ項目の方法と同様に検索します。

🔍 「世界の料理・メニュー辞典 (6カ国編)」については95ページの「世界の料理・メニュー辞典 (6カ国編) について」もご覧ください。



# ワインコンパニオンを使う

「ワインコンパニオン」では以下の方法で検索することができます。  
ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「カタカナ名から調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にワインの名前（カタカナ名）を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

## 「原名から調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にワインの原名（英語）を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索、あいまい検索で検索することができます。

## 「複合検索」を選ぶと

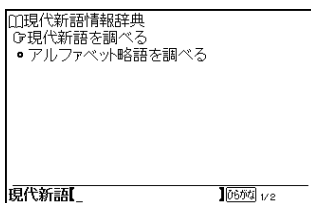
表紙画面で「複合検索」の（フランス）、（ドイツ）、（イタリア）、（その他）を選択します。選択したあと、画面の指示に従い「P」キーを押して「種類（味）」、「希望価格帯」、「セバージュ」を選択します。入力が終わったらジョグダイヤルを押します。

💡 「ワインコンパニオン」については100ページの資料「ワインコンパニオン」もご覧ください。

# 現代新語情報辞典 第4版を使う

「現代新語情報辞典 第4版」では以下の方法で検索することができます。

ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「現代新語を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に言葉を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

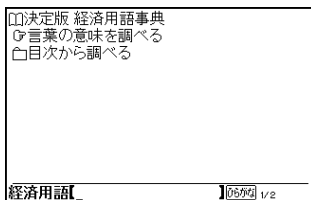
## 「アルファベット略語を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にアルファベット略語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索、あいまい検索で検索することができます。

💡 「現代新語情報辞典 第4版」については97ページの「現代新語情報辞典 第4版について」もご覧ください。

# 決定版 経済用語事典を使う

「決定版 経済用語事典」では以下の方法で検索することができます。  
ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「言葉の意味を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に経済用語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

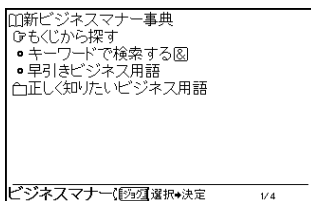
## 「目次から調べる」を選ぶと

目次画面が表示されます。

ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

# 新ビジネスマナー事典を使う

「新ビジネスマナー事典」では以下の方法で検索することができます。  
ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



## 「もくじから探す」を選ぶと

目次画面が表示されます。

ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

## 「キーワードで検索する」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の言葉を&で区切って入力し、検索することができます。

## 「早引きビジネス用語」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にビジネス用語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

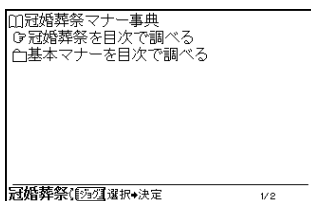
## 「正しく知りたいビジネス用語」を選ぶと

ビジネス用語の一覧が表示されます。

ジョグダイヤルで調べたい項目を選択します。

# 冠婚葬祭マナー事典を使う

「冠婚葬祭マナー事典」では以下の方法で検索することができます。  
ジョグダイヤルで検索方法を選びます。



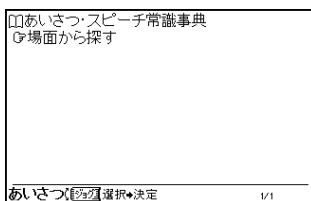
「冠婚葬祭を目次で調べる」または「基本マナーを目次で調べる」を選ぶと

目次画面が表示されます。

ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

# あいさつ・スピーチ常識事典を使う

「あいさつ・スピーチ常識事典」では場面から検索することができます。



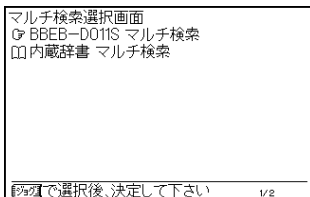
表紙画面でジョグダイヤルを押すと、目次画面が表示されます。

ジョグダイヤルで調べたい場面を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

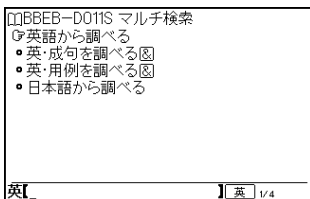
# マルチ検索を使う

マルチ検索機能を使えば、本製品に入っている複数の辞書から調べたいことばを検索することができます。

- 1 **【マルチ検索】キーを押す。**  
マルチ検索選択画面が表示されます。



- 2 **ジョグダイヤルで「☑」を移動させて「BBEB-D011Sマルチ検索」を選び、押す。**  
本製品でできるマルチ検索の種類が表示されます。



- 3 **ジョグダイヤルで「英語から調べる」、「英・成句を調べる」、「英・用例を調べる」または「日本語から調べる」を選び、調べたいことばまたはキーワードを入力する。**  
該当項目が表示されます。

# “メモリースティック-ROM” 使用上のご注意

“メモリースティック-ROM”をお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- “メモリースティック-ROM”の端子部に手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- データの読み込み中に“メモリースティック-ROM”を抜かないでください。
- 下記の場合、データが消えたり壊れたりすることがあります。
  - 読み込み中に“メモリースティック-ROM”を抜いた場合
  - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。

# 辞典の内容について

本製品に収録した辞典の内容は以下の出版社および編者の著作物を各社のご協力を得て編集したものです。

本書の一部または全部を無断で複製すること、および賃貸に使用することは、著作権法で禁止されています。

また、個人としてご利用になる場合は出版社に無断では使用できませんのでご注意ください。

## 各著作物と著作者

### リーダーズ英和辞典 第2版

© 1999 株式会社 研究社

編者 松田 徳一郎

発行 株式会社 研究社

### 監修カタカナ発音英単語検索辞典

© 2001 株式会社 研究社

編集・著作 株式会社 研究社

発行 株式会社 研究社

### 新和英中辞典 第4版

© 1994,2001 株式会社 研究社

編者 R.M.V.Collick

日南田 一男 田辺 宗一

発行 株式会社 研究社

※ 英和、和英辞典については、図版、付録などを除き書籍版の全内容を収録しています。ただし画面表示の都合、その他の事情により、研究社の監修に基づいて、書籍版の内容を編集した部分があります。

● 記述内容についてのお問い合わせは下記へ

株式会社 研究社

Tel. 03(3288)7711



---

## オックスフォード現代英英辞典 第6版

Oxford Advanced Learner's  
Dictionary

© Oxford University Press 2000

編集・著作・発行

Oxford University Press

## オックスフォードコンサイス類語辞典

The Concise Oxford Thesaurus

© Oxford University Press 1997

編集・著作・発行

Oxford University Press

※ 英英辞典、類語辞典については、  
図版見出し、付録などを除き書籍版  
のほぼ全内容を収録しています。た  
だし画面表示の都合、その他の事  
情により、Oxford University  
Pressの監修に基づいて、書籍版  
の内容を改変した部分があります。

● 記述内容についてのお問い合わせ  
は下記へ

オックスフォード大学出版局株式会社  
Tel. 03(3459)6481

---

## 最新 ビジネス英語スーパー辞典 英和・和英

© ALC Press Inc.

編者 日向 清人

発行 株式会社 アルク

● 記述内容についてのお問い合わせ  
は下記へ

株式会社 アルク

Tel. 03(3327)1101

---

## ビジネス技術 実用英語大辞典 英和・和英 第4版

© 海野 文男 海野 和子

発行 日外アソシエーツ 株式会社

● 辞書の内容についてのお問い合わ  
せは下記へ

日外アソシエーツ 株式会社

Tel. 03(3763)5241

---

## ひとり歩きの ビジネス英語自遊自在

© JTB

編集 るるぶ社海外編集局

ワールドガイド編集部

改版10版発行

2001年5月1日

発行 JTB出版事業局

デジタルコンテンツ事業本部

● 記述内容についてのお問い合わせ  
は下記へ

JTB出版事業局

Tel. 03(5796)5516

---

## 英会話とっさのひとこと辞典

© Ichiro Tatsumi, Sky Heather

Tatsumi, DHC Corporation

著作 巽 一朗

巽 スカイ・ヘザー

発行 株式会社 DHC出版事業部

● 記述内容についてのお問い合わせ  
は下記へ

株式会社 DHC出版事業部

Tel. 03(3585)1581

---

## アクティブ英語会話表現辞典

編者・著作 杉田 敏

© Satoshi Sugita

発行 株式会社 旺文社

## 新ビジネスマナー事典

編者・著作 株式会社 旺文社

© Obunsha Co.,Ltd.

発行 株式会社 旺文社

## 冠婚葬祭マナー事典

© Obunsha

編集・発行 株式会社 旺文社

- 記述内容についてのお問い合わせは下記へ

株式会社 旺文社

Tel. 03(3266)6287

---

## 英語で話す「日本」Q&A

© Kodansha International Ltd. and Translation Services, Inc.

発行 講談社 インターナショナル株式会社 第2出版部

- 記述内容についてのお問い合わせは下記へ

講談社 インターナショナル株式会社 第2出版部

Tel. 03(3944)6493

---

## TOEIC®テスト攻略ボキャブラリー 精選1200

© ALC Press Inc.

編者 木村 哲夫

ヘシヤン 田中ゆき子

John Hessian

Armand Suarez

発行 株式会社 アルク

- 記述内容についてのお問い合わせは下記へ

株式会社 アルク

Tel. 03(3327)1101

- \* TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Group(ETS). This product is not endorsed or approved by ETS or The Chauncey Group International Ltd. The TOEIC is administered by The Chauncey Group International Ltd., a subsidiary of Educational Testing Service.

---

## 監修ペラペラ・英米旅行会話

© Sanshusha Publishing .Co., Ltd.

編集・著作 株式会社 三修社

## 監修ペラペラ・ドイツ旅行会話

© Sanshusha Publishing .Co., Ltd.

編集・著作 株式会社 三修社

## 監修ペラペラ・フランス旅行会話

© Sanshusha Publishing .Co., Ltd.

編集・著作 株式会社 三修社

---

### 監修ペラペラ・スペイン旅行会話

© Sanshusha Publishing .Co., Ltd.

編集・著作 株式会社 三修社

### 監修ペラペラ・イタリア旅行会話

© Sanshusha Publishing .Co., Ltd.

編集・著作 株式会社 三修社

### ドイツ会話と暮らしのハンドブック 新訂版

© Yoshiko Watanabe Roegner

編者・著作 渡辺レグナー嘉子

発行 株式会社 三修社

### フランス会話と暮らしのハンドブック 第2版

© Endo Mariko

編集・著作 遠藤 真理子

発行 株式会社 三修社

- 記述内容についてのお問い合わせは下記へ

株式会社 三修社 ユーザーサポート  
Tel. 03(3713)0944

---

### 監修世界の料理・メニュー辞典(6カ 国編)

© GAKKEN

編集・著作 株式会社 学習研究社

### 現代新語情報事典 第4版

© GAKKEN

編集・著作 株式会社 学習研究社

- 記述内容についてのお問い合わせは下記へ

株式会社 学習研究社 辞典編集部  
Tel. 03(3726)8371

---

### ワインコンパニオン

© 株式会社アートデータ

編者・著作

株式会社 アートデータ

生活データ編集部

- 記述内容についてのお問い合わせは下記へ

株式会社 アートデータ

Tel. 03(5790)5300

---

### 決定版 経済用語事典

© PHP Institute, Inc.

編者 PHP Institute, Inc.

発行 株式会社 PHP研究所

- 記述内容についてのお問い合わせは下記へ

株式会社 PHP研究所

Tel. 03 (3239) 6257

---

### あいさつ・スピーチ常識事典

© Shufunotomo Co., Ltd. 2002

Printed in Japan

編者・著作 株式会社 主婦の友社

- 記述内容についてのお問い合わせは下記へ

株式会社 主婦の友社

Tel. 03(5280)7500 (代)

- 本製品に収録した辞典は、出版されているそれぞれの辞典に基づいて作成しております。それぞれの辞典における誤記や誤用につきまして、当社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品およびソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品の故障、誤動作、不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害、および文書ならびに画像データが正常に保存、呼び出しができないことによって発生した損害などの、付随的損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# リーダーズ英和辞典 第2版について

## 凡 例

この辞書では英語の普通の語・固有名詞，接頭辞・接尾辞・連結形，略語・記号，外来語，および外国語のフレーズ・引用句を本文に示し，収録した主見出し・副見出し・成句などの収録数は約27万である。

## I 見出し語

- 1.1 a 配列は原則としてアルファベット順としたが，単につづりが異なる語・追込み見出し・同義の複合語は比較的近くに配列される場合は必ずしもこの原則によらず一か所にまとめて示したので注意されたい。また -o- や -i- の付く連結形はほとんどこれらの連結母音を付けない形のところで並記するにとどめたので，そのつもりで検索されたい（たとえば phosphoro- は phosphor- のところに並記）。
- b 数字を含む見出し語の配列は，それを数詞で書いた場合の順序とする（たとえば A1 は A one, 4-H club は four-H club, F<sub>1</sub> layer は F-one layer）。
- c St. および Mac, Mc の付く複合語の見出し語の配列は，それぞれ Saint, Mac とつづった場合の順序とする。
- 1.2 つづりが米英で異なるときは米式つづりを主とし，英式つづりを従として示した。米英のつづりの違いは縦線（|）を用い，米英の違いではないときの並記にはコンマ（,）を用いて区別した。異つづりを並記するときには，多くの場合共通する部分をハイフン（-）を用いて略記した。
- 例： **hon-or | hon-our**（米では概して honor とつづり，英では概して honour とつづる）
- shash-lik, -lick, shas-lik**（米英ともに3通りのつづりを用いる）
- epi-logue, 《米》 -log**（米英ともに epilogue のつづりが普通で，米ではさらに epilog ともつづる）
- ★ 派生語・複合語についてはいちいち英式つづりは示さず，また -ize と -ise はほとんど -ize のほうだけを示した。

1.3 同じつづりの語でも語源が異なるときは別見出しとし、右肩に小文字で番号を付けて区別した。

例： **chop**<sup>1</sup> /tʃɒp/ *v* (-**pp**-) *vt, vi* (《おの・なたなどで》) ぶち切る， 伐る； …

**chop**<sup>2</sup> *vi, vt* (-**pp**-) <風が>急に変わる， 意見(《など》)を変える <about>； …

**chop**<sup>3</sup> *n* [*pl*] あご (jaw)； [*pl*] 口腔， 口， 口もと， ほお； …

**chop**<sup>4</sup> *n* (《インド・中国貿易における》) 官印， 出港 [旅行] 免状； …

1.4 発音を表記しない見出し語には、本来のつづり字にはないアクセント記号を付けて、発音の強勢アクセントを示した (⇒II 発音)。

例： **es-cáp-er** // **lásaer printer** // **nón-prófit-making**

★ つづり字本来のアクセントは **dé・jà vu** のように太く示した。

1.5 a 分節の切れ目は中点(・)で示した。発音の違いによって分節が異なる語は原則として第一に示した発音によって切った。語頭・語末の1音節をなす1字は切らないほうが望ましいので示さない。

例： **aphid** /éɪfəd, æf-/ (《第一の発音によるので a-**phid** であるが語頭の1字 a を切らない》)

b 複合語・派生語については各要素間の切れ目と音節の切れ目が一致するときは、各要素の切れ目にのみ中点あるいはハイフンを示し、各要素の分節は了解されているものと見なして省略した。

例： **mémber-ship** // **létter-pérfect** // **násal-ize** // **de-násal-ize**

1.6 省略しうる部分は ( ) 括弧で、言い換えできる部分は [ ] 括弧で示した。

例： **dévil's fòod (càke)** (《devil's food cake または devil's food》)

**aliméntary canál [tráct]** (《alimentary canal または alimentary tract》)

1.7 スワングダッシュ(～)は追込み見出し・語形変化・成句・用例中などで、本見出しと同一つづりの部分を表わすために用いた。

## II 発音

- 2.1 発音は、国際音声記号を用い / / に入れて示した。音声記号の音価については、「発音記号表」(p.55)を参照。
- 2.2 母音記号の上にアクセント符 / ˈ / を付けて第1アクセントを示し、 / ˈ / を付けて第2アクセントを、 / ˈ / を付けて第3アクセントを示した。  
例： **add** /æd/ // **ars nova** /á:rz nɔʊvə/ // **rep-re-sent** /rèprɪzént/
- 2.3 a 発音の異形 (variant) はコンマ (,) で区切って並記した。その場合、共通の部分はハイフンを用いて省略した。  
例： **qua-dru-pe-dal** /kwadrú:pəd'l, kwàdrəpéd'l/  
**amus-ive** /əmjú:zɪv, -sɪv/ ((/-/ は共通の部分 /əmjú:/ を表わす))
- b 米音と英音が異なる場合は次の形式で示した。  
例： **aunt** /ænt; á:nt/ ((=/米 ænt; 英 á:nt/))  
**doll** /dól, \*dɔ:l/ ((=/米英共通 dól, 米には dɔ:l もある/))
- c 発音が同じでアクセントだけが異なる場合、各音節を短いダッシュで表わし、アクセントの位置の違いを示した。  
例： **gab-ar-dine** /gæbərðɪ:n, ˌ- - ɪ/ ((/ˌ- - ɪ/ = /gæbərðɪ:n/))  
**im-port** v /ɪmpɔ:rt/... — **n** /ɪ ɪ/ ((/ɪ ɪ/ = /ɪmpɔ:rt/))
- 2.4 人・場合によって発音されない音は ( ) 内に入れて示した。  
例： **at-tempt** /ətém(p)t/ ((=/ətémt, ətém(t)/))  
**sta-tion** /stéɪf(ə)n/ ((=/stéɪfən, stéɪfn/))
- ただし、 /ə/ が省略された場合には、次の音が /l/, /m/, /n/ のいずれかであれば、音節主音 (syllabic) になり、音節数は不変である。
- 2.5 強い形 (strong form) もあるが弱い形 (weak form) を常用するものは、次のように弱い形を先に示した。  
例： **at** /ət, ət, éɪt/ // **for** /fər, fɔ:r/
- 2.6 次のような場合は、繰返しを避けて先行させた語のみに発音を示した。  
例： **eth-nic** /éθnɪk/, **-ni-cal** ((**ethnic** /éθnɪk/, **ethnical** /éθnɪk(ə)l/))  
**equiv-a-lence** /ɪkwív(ə)ləns/, **-cy** ((**equivalence** /ɪkwív(ə)ləns/, **equivalency** /ɪkwív(ə)lənsi/))
- 2.7 同一見出し語内における並記見出し語・変化形・異品詞・追込み見出しにおいては、通例その異なる部分のみを表記し、同じ部分は /-/ で略記した。

例： **Ae-gos-pot-a-mi** /i:gəspátəmài/, **-mos** /-məs/ *n*  
**ae-ci-um** /f:siəm, -ʃi-/ *n* (*pl -cia*/-ə/)  
**ar-tic-u-late** /a:rútkjələt/ *a* ... — **vt, vi** /-lèit/ ...

2.8 複合語のアクセントを示すために、その構成要素としての一つの単語全体の発音を長いダッシュで表わした。

例： **A-bomb** /éi —/ ((= /éibàm/))  
**ABO blood group** /èibi:óu — —/ ((= /èibi:óu bláð grù:p/))

2.9 a 外来語の発音は近似の英語音で示した。ただし、フランス語とドイツ語に由来するものについては原音を示した場合もある。その場合、*F* または *G* を付して、それぞれフランス語またはドイツ語の原音であることを示した。

例： **genre** /F ʒã:r/  
**Welt** /G vélt/  
**Ab-élard** /æbəlã:rd; F abelã:r/ ((= /英語音 æbəlã:rd; フランス語原音 abelã:r/))  
**Augs-burg** /G; gzbh:rg, áugzbh:erg; G áuksburk/  
((= /英語音 G; gzbh:rg, áugzbh:erg; ドイツ語原音 áuksburk/))

b フランス語の複数形などの発音が主見出しの発音と同一の場合は /-/ で示した。

例： **va-let de cham-bre** /F vale dəʃ ã:br/ (*pl va-lets de cham-bre* /-/)

2.10 直前の見出し語と発音・つづりおよび分節が同じ場合には、発音・アクセント表記および分節を省略した。なお、大文字と小文字の違いは、ここではつづりの違いとはみなさない。

例： **bear**<sup>1</sup> /béər, <sup>2</sup>bæér/ **bear**<sup>2</sup>  
**grace** /gréis/ **Grace**  
**Fitz-ger-ald** /fitsdʒér(ə)ld/ **FitzGerald**

直前の見出しと分節だけが異なる場合には分節だけを示し発音表記を省略した場合がある。

例： **ten-der**<sup>1</sup> /téndər/ **tend-er**<sup>2</sup> **ten-der**<sup>3</sup>

2.11 次にあげる種類の見出し語には、つづり字の上にアクセントが示してあるだけで発音表記はないが、構成要素それぞれの発音は独立見出しで与えられているから、その発音を合成し、示されたアクセント型で発音するものとする。



a 二語 (以上の) 見出し

例: **áction státion** ((action, stationは独立に見出しとしてあり, 発音はそれぞれ /ækj(ə)n/, /stéj(ə)n/ であるから, これを合成して示されたアクセント型を付与すれば /ækj(ə)n stéj(ə)n/ となる))

**ábsentee bállot** ((absenteeは単独では /æbs(ə)ntí:/ であるが, 全体としては /æbs(ə)nti: bælát/ と発音することを示す))

独立見出しとしては記載されていない語については, その部分だけ発音を示した.

例: **Brám·ah löck** /brá:mə-, \*bráem-/

b 複合語

例: **bláck·bird // fínger·print // out·dóors**

複合語の構成要素の一部の発音が独立見出しの発音と異なるときはその要素の発音を示した.

例: **bóok·man** /-mən, -mæn/ ((=/búk·mən, búk·mæn/))

複合語の発音の一部を示すときは, その要素に第1アクセントがあれば見出し語の上にこれを示し, これ以外は示さない.

例: **os·cíl·lo·gráph** /osflə-/ // **frac·tó·cúmulus** /fræktou-/

c 派生語および屈折形の中で, 語幹の発音・つづり・分節に影響を及ぼさず, それ自身一定した発音をもっている接辞の付いているものの発音も省略した. また, 所有格および複数の s の発音は省略した.

例: **accépt·ance // áct·ing // kínd·ness // státes·man** /-mən/ // **Súndays**

d 音節の増加をもたらさない文字の付加によってでき上がった語は, 発音を示さず, 全体の分節とアクセントだけを示した.

例: **com·préssed // máth·e·mát·ics**

派生または屈折によってサイレントの e が脱落したり, y が i に変わったり, 子音字が重なったりした場合には, 発音を省略してアクセントのみ示したが, 初出の場合にかぎって語全体の分節を示した.

例: **báb·bler // com·pút·er // háp·pi·ness // trans·mít·ter // be·gínning // réd·crèst·ed póchard**

e 派生または屈折によって同じ子音字が重なった場合, 原則として発音は単一である.

例: **spécíal·ly** ((=/spéj(ə)li/)) // **cút·ter** ((=/kátər/)) // **be·gín·ner** ((=/bígínər/))

f 連結形を含む語で、連結形の発音が一定している場合.

例: **hýdro·therapéutics** // **mòno·mánia** // **nèo·clássic**

★ (1) 発音を省略した見出しで、構成要素の切れ目(と同時に分節点)を示す中点(・)は構成の順序とは必ずしも関係がない.

例: **dis·assémbler** (《構成の順序は (dis+assemble) +er》)

**un·kínd·ness** (《構成の順序は (un+kind) +ness》)

(2) 発音を表記しない見出し語に対する発音の異形を示すために/,.../ /;.../ などを用いた.

例: **dí·amíde** /, daíéməd/ (《=/dáíémàíd, daíéməd/》)

**ám·bu·la·tó·rí·ly** /;émbjulət(ə)ríli/ (《=/əmbjələtós:rəli;

émbjulət(ə)ríli/》)

2.12 発音表記を省略できる語でも紛らわしいときには註として発音を添えたものがある.

例: **ar·che·týpical** /-típ-/ // **léad time** /lí:d-/ , // **léad·wòrk** /lèd-/ //

**wéllréad** /-réd/

### III 品詞

3.1 品詞表示の略語については「略語表」(p.50)を参照.

3.2 一語で2品詞以上にわたる場合、—— を用いて同一項内で品詞の分け目を示した.

### IV 語形変化

4.1 不規則な変化形のつづり・発音は( )括弧の中で以下のように示した. ただし複合語・派生語については必ずしも示さない.

4.2 名詞の複数形

例: **the·sis** /θí:səs/ n (pl **-ses** /-sì:z/)

**goose** /gú:s/ n (pl **geese** /gí:s/)

**deer** /díər/ n (pl ~, ~s)

**pi·ano** /piénoʊ, pjæn-/ n (pl **-án·os**)

4.3 a 不規則動詞の過去形; 過去分詞; -ing形

例: **run** /rʌn/ v (**ran** /ræn/; **run**; **rún·ning**)

**cut** /kʌt/ v (~; **cút·ting**)

**sing** /síŋ/ v (**sang** /sæŋ/, 《まれ》**sung** /sʌŋ/; **sung**)

b 語幹の子音字を重ねる場合は次のように示した。

例：flip /flíp/ *vt, vi* (-pp-) ((-pp- = flípped; flíp·ping))

pat<sup>1</sup> /páet/ *v* (-tt-) ((-tt- = pát·ted; pát·ting))

trav·el /tráv(ə)l/ *v* (-I-|-II-) ((-I-|-II- = 《米》tráv·eled;

tráv·el·ing | 《英》tráv·elled; tráv·el·ling))

píc·nic /pík·nik/ ... — *vi* (-nick-) ((-nick- = píc·nicked;  
píc·nick·ing))

#### 4.4 形容詞・副詞の比較級；最上級

単音節語には -er; -est を付け、2音節以上の語には more; most を付けるのを通則とするので、通則に従う変化は示さない。これに反するもの、またはつづり・発音の注意すべきものは次のように示した。

例：good /gúd/ *a* (bet·ter /bét·tər/; best /bést/)

big<sup>1</sup> /bíg/ *a* (bíg·ger; bíg·gest)

long<sup>1</sup> /lɔ́(:)ŋ, lúŋ/ *a* (~er /-ŋg-/; ~est /-ŋg-)

## V 語義と語法

5.1 多義語・重要語については、通例アラビア数字 1 2 3 を用いて語義の分類を示した。さらに上位区分として A B を用い、下位区分として a b c を用いた (⇒本文 the)。

5.2 訳語の前に [ ] 括弧を用いて文法・語法上の指示・説明を添えた。

例：[C-] [s-] (《大文字または小文字で始まることを示す》//

[the ~] [a ~] (《冠詞 the, a が付く》// [<sup>u</sup>pl] (《普通は複数形で用いる》), [~s] (《見出しに s が付く》// [<sg>] [<pl>]

[<sg/pl>] (《構文上の単数・複数》// [pass] [pp] [pred]

5.3 小型頭文字 (SMALL CAPITALS) は参照すべき見出し語を示す。紙面の節約のため、語義 (の一部)・説明語 (句)・相互参照など随所に用いたのが十分活用されたい。ただし、用例で用いたものは見出し語の存在を示すインデックスに過ぎない。

5.4 a 用法指示ラベルには《 》を用いた (⇒「略語表」(p.50))。《古》《まれ》、《スコ》《豪》《方》、《詩》《口》《俗》などの用法指示は絶対的なものではなく、いずれもおおよその傾向を示すにとどまり、またその傾向の程度もまちまちで決して一様ではない。《米》《英》の表記はそれぞれ \* , " の記号で示した。《・英古》《・英方》のように中点 (・) を付したものはそれぞれ「《英》では《古》」「《英》では《方》」の意を表わす。

b 学術用語などの分野指示には〔 〕を用いた。〔医〕〔昆〕〔哲〕などの指示は、必ずしも専門用語であることを示すものではない。たとえば〔植〕によって植物学の学術用語であることを示すこともあれば、単に語義が植物であることを示すだけのこともある。

c 制度・団体などの国籍を示すのに〔 〕を用いた。〔米〕〔英〕はそれぞれ《米国の》《英国の》の意である。〔アイル〕は《アイルランドの》の意であり、《アイル》がことばとしてIrishであることを示すものと異なる。

## 5.5 訳語ではく >括弧を用いて、動詞の主語・目的語や形容詞と名詞の連結などを示した。

例： **date**<sup>1</sup> ... — *vt* **1 a** <手紙・文書>に日付を入れる；<事件・美術品など>の日時[年代]を定める；... **2\***《口》<異性>と会う約束をする<*up*>，... とデートする [つきあう]。

**easy** ... **a** ... **2 a** 安楽な，気楽な，楽な(at ease)；<気分・態度などの><つろいだ (frank)；...；<衣服などが>きつくない，ゆるい；... **3** <傾斜が>なだらかな；<談話・文体などの>すらすらした；...；<速度などが>ゆるやかな；... **4 a** <規則・条件など>きびしくない，ゆるやかな。 **b** 《商》<商品が>供給豊富な，<市場の取引が>緩慢な...

## 5.6 見出し語と連結する前置詞・副詞・接続詞を訳語のあとに <*in, at*> <*on*> <*that*> のように示した。

例： **acquaint** ... *vt* <人>に知らせる，...，告げる<*with a fact, that, how*>；...

**capable** ... **a 1 a** ...；<...に必要な>実力[資格]のある<*for*>；... **2 b** ..., <...に> 耐えうる，<...を>入れうる<*of*>；...

**familiarity** ... **n 1** よく知っていること，精通，熟知，知悉<*with*>，...

**mine**<sup>2</sup> ... — *vt* **1 a** ...；<資源などを>枯渇させる<*out*>。

...

## 5.7 同意語 (synonym) は訳語のあとに ( ) 括弧で，反意語 (antonym) は (opp....) の形で，説明語句は訳語の前または後ろに ( ) を用いて示した。

- 5.8 語義・訳語に用いた( )括弧は( )内を省略しうることを示し、[ ]括弧は先行の語(句)と置き換えうることを示す。  
 例： **gránd-dúcal** *a* 大公(妃)の；帝政ロシアの皇子[皇女]の。  
 (「大公の、大公妃の；帝政ロシアの皇子の、帝政ロシアの皇女の」の意)
- 5.9 随所に★を用いて、(1)発音・つづり字・語法・文法・慣用その他についての補足的な注意・説明・参考事項などを示し(⇒本文 *A<sup>2</sup>, BE, SOMEONE, TWENTY-THREE, etc.*)、(2)類語を一か所に列記して各語間の関連を明確にした(⇒本文 *ARMY, BEAUFORT SCALE, METER<sup>1</sup>, TYPE, etc.*)。

## VI 用例と成句

- 6.1 限られた紙面になるべく多くの語義を収載する方針を採ったために、全体に用例を相当割愛した。用例および成句中での( )括弧、[ ]括弧の用法は、見出し語(⇒1.6)および語義・訳語(⇒5.8)の場合と同じである。
- a** 用例は語義のあとをコロン(:)で区切って示し、用例と用例の区切りは斜線(/)で示した。
- b** 用例および成句中では、3字以上の見出し語相当のつづりにはスワングダッシュ(~)を用いた。用例中に見出し語の変化形、および注意すべき冠詞・前置詞・副詞・接続詞などはイタリック体で示し、その他はローマン体で示した。小文字 *c* で始まる見出し語の項で *C~* とあれば大文字で始まることを示し、逆に大文字 *S* で始まる見出しの項で *s~* とあれば小文字で始まることを示す。
- c** 用例は必ずしも全訳せず必要箇所のみを訳出し、また意味が自明であるときはまったく訳を示さないこともある。
- 6.2 **a** 成句はボールド体で、成句中の見出し語部分の品詞に従って、その品詞の記述の最後に一括して示した。ただし、品詞分類の煩わしい語については、品詞の別を無視して幾つかの品詞の成句をまとめて示したものもある。
- b** 成句の並べ方はアルファベット順を原則としたが、類縁の成句などは一か所にまとめたものもあるので注意されたい。

c 成句の意味分類はおおむねセミコロン(;)で区切るにとどめたが、これでは煩雑になる場合、および相互参照に便利になる場合には(1)(2)(3)と分類した。また、時として成句の品詞を示したものもある。

例: **make**<sup>1</sup> ... *v* ... ~ **out** (1) [通例 *can, could* を伴って] ((なんとか)) 理解する, ... (2) 起草する, ... ; 詳細に描く. (3) 信じさせる, 証明する, ... ; 《口》見せかける, ふりをする <*that*> : ... (4) 《口》(うまく) やっていく, 成功する <*with*> ; <人と> (うまく) やっていく <*with*> ; やりくりする : ... (5) <金を> こしらえる ; まとめ上げる. (6) \*《俗》(女) うまくモノにする, ...

**draw** ... *v* ... ~ **on** (*vt*) (1) 引き上げる ; <手袋・靴下などを> はめる, 履く... (2) <人を> 誘い込む, <...するように> 励ます <*todo*> ; ... (3) <手形を> ...あてに振り出す ... (*vi*) (4) (源を) ...にたよる, ...を利用する ; ...に要求する : ... (5) 近づく, 迫る (*approach*) ; <船が> 他船に近づく.

d 成句に添える用例の示し方は一般の語義に添える用例の扱いと同じである (⇒6.1).

6.3 a 用例および成句中に用いた *one, one's, oneself* は, その位置に文の主語と同一の人または物を表わす名詞または代名詞がはいることを示す.

例: **mas·ter**<sup>1</sup> ... *n* ... **make oneself ~ of** ...に熟達する, ...を自由に使いこなす.

((たとえば *He made himself ~ of...* となる))

b 用例および成句中に用いた *sb* または *sth* は, その位置に文の主語と異なる人または物を表わす名詞または代名詞がはいることを示す.

例: **bag**<sup>1</sup> ... *n* ... **give** [*leave*] *sb the ~ to hold* 人を窮境に見捨てる.

((たとえば *Jack gave her the - to hold.* となる))

## VII 語源

- 7.1 語源は各語の記述の最後に [ ] 括弧に囲んで示した。記述は、現在の語義・語形の理解に役立つことを主眼とし、必要に応じてセミコロン (;) のあとに説明を加えた。語義上特筆すべきことがない場合、言語名の表示にとどめる。
- 7.2 [<] は derivation を示す。語源欄最初の (言) 語は直接のもとを示すが、最後は最終語源とは限らない。借入経路を省略した場合はコンマを入れて [...,< ...] で示す。  
例： **turban** [MF, < Turk < Pers; cf. **TULIP**]
- 7.3 小型頭文字は、関連語の語源欄・成句参照を意味する。直前・直後の語またはその語源欄の参照はそれぞれ [↑] [↓] で示す。  
例： **antsy** [cf. have **ANTS** in one's pants]
- 7.4 [?] は語源が不確実または不明の語に付し、必要に応じて初出世紀・関連語などを示す。また、借入源を特定言語に確定できない場合、地域名を ( ) 内に示す。  
例： **tag**<sup>2</sup> [C18<?]  
**nasty** [ME<?;cf. Du *nestig dirty*]  
**banana** [Sp or Port< (Guinea)]

## VIII 諸記号の用法

- 8.1 諸種の括弧
- a ( )
- (1) 括弧内が省略されうることを示す (⇒1.6, 2.4, 5.8, 6.1).
  - (2) 見出し語の語形変化を示す (⇒IV).
  - (3) 同意語・反意語・参照語 (句) を示す (⇒5.7).
  - (4) 人の生没年・歴史年代や、漢字のふりがな・仮名の送り漢字などを示す。
- b [ ]
- (1) 語 (句) の入れ換えを示す (⇒1.6, 5.8, 6.1).
  - (2) 語法などの指示を示す (⇒5.2).

c [ ] 全記述の末尾において語源を示す (⇒VII).  
 語義・句義の末尾において意味の由来を示す.  
 略語中において言語名や外国語のつづりを示す.

d ( ( )

(1) 語義・訳文などの前後に置いて限定的・補足的説明を示す (⇒5.7).

(2) 関連語, 特に関連形容詞を示す.

例: **star** /stɑ:ɹ/ n **1 a** 星, 恒星 (cf. PLANET) ((cf. ASTRAL, SIDEREAL, STELLER a)); ...

e / / 発音を示す (⇒II)

f < > の用法については5.5, 5.6を参照.

g < > の用法については5.4を参照.

h [ ] の用法については5.4を参照.

8.2 a ハイフンは次のように用いた.

(1) 見出し語 ((-, -))

複合語

接頭辞・接尾辞・連結形

一部省略

つづりの改行の切れ目

**dóuble-lóck** vt ...

**ad- // -ics // Russo- // -phobia**

**bio-chémical, -chémic** a 生化学の,  
 生化学的な.

—— n [-cal] 生化学製品 [薬  
 品]. **-ical-ly** adv

**Ca-mel-o-par-da-lis** /

kəmɛləpɑ:rd(ə)lɔs/,

**Ca-mel-o-par-dus** /kəmɛləpɑ:rdɔs/

〔天〕きりん座...

(2) 見出し語以外 ((-, -))

つづり本来のハイフン

発音表記の一部省略

つづり・発音表記の

改行の切れ目

**fa-mous** /féimɔs/ a **1** 有名な, 名  
 高い (well-known) ...

**ole-ic** /oulfɪ:k, -léɪ-; óuli-/ a 油の;  
 〔化〕オレイン酸の.

**Do-lo-res** /dɔlɔ:ras/ ドローレス

(女子名; 愛称 Lola,

Loleta, Lolita). [Sp < L = sorrows

(of the Virgin Mary)].

**al-do-ste-ron** /ældástərɔn,

ældoustéərɔn, ældoustəróun,

ˌældəstɛrɔn/ n ((生化))アルドステロ  
 ン...



b 小型頭文字は参照すべき見出し語を示す (⇒5.3, 7.3).

c (1) <sup>u</sup>, °, <sup>s</sup> はそれぞれ *usually* (通例), *often* (しばしば), *sometimes* (時に) を記号化したもので、次のように用いた.

例: [<sup>u</sup>p] (通例複数で用いる) // [°P-] (しばしば P で始まる) // [<sup>u</sup>~s, <sg>] (通例 -s 付きの形で構文上は単数扱い)

なお、発音表記に用いるときも同じ.

(2) \*, " はそれぞれ《米》, 《英》の意.

(3) + (プラス) は派生語などの語義記述の前において、「記述するまでもない派生的な意味に加えて」の意.

d その他

~, ~ 見出し語と同一のつづりを表わす (⇒1.7, 6.1b).

☞ 参照すべき項目を示す.

★ 注意事項・一括列記 (⇒5.9)

☆ 地名の説明中で、都市名の前に付けて首都・州都・中心都市を示す.

... 語義・用例・訳文中において、...の所にいろいろな語が該当することを示す。「instead of... の代わりに」のように英語・日本語の共通部分にはこれを繰り返さない.

○ 略語・記号の見出しで、そのもととなった2語以上から成る語句の前に付けて、それが見出しにあることを示す.

例: **BA** [野] ° *batting average*. (batting average の見出しがある).

\* 語源の記述で、例証されないが同族語の対応などから理論的に再建された語形であることを示す.

例: **la·dy** ... [OE *hlæ-fdige* loaf kneader (*hla-f* bread, \**dig-* to knead; cf. DOUGH) ; cf. LORD]

# 略 語 表

<i>a</i>	adjective	<i>neg</i>	negative
<i>adv</i>	adverb	<i>obj</i>	objective
<i>attrib</i>	attributive	<i>p</i>	past
<i>comb form</i>	combining form	<i>pass</i>	passive
<i>compd</i>	compound	<i>pl</i>	plural
<i>conj</i>	conjunction	<i>poss</i>	possessive
<i>derog</i>	derogatory	<i>pp</i>	past participle
<i>dial</i>	dialect	<i>pred</i>	predicative
<i>dim</i>	diminutive	<i>pref</i>	prefix
<i>euph</i>	euphemism	<i>prep</i>	preposition
<i>fem</i>	feminine	<i>pres p</i>	present participle
<i>fig</i>	figurative	<i>pron</i>	pronoun
<i>freq</i>	frequentative	<i>rflx</i>	reflexive
<i>imit</i>	imitative	<i>sb</i>	somebody
<i>impv</i>	imperative	<i>sg</i>	singular
<i>int</i>	interjection	<i>sth</i>	something
<i>inter</i>	interrogative	<i>suf</i>	suffix
<i>iron</i>	ironical	<i>v auxil</i>	auxiliary verb
<i>joc</i>	jocular	<i>vi</i>	intransitive verb
<i>masc</i>	masculine	<i>voc</i>	vocative
<i>n</i>	noun	<i>vt</i>	transitive verb
《詩》	poetical	《米》, *	Americanism
《古》	archaic	《英》, "	Briticism
《廢》	obsolete	《スコ》	Scottish
《口》	colloquial, informal	《北イング》	North England
《文》	literary	《アイル》	Irish
《俗》	slang	《ウェールズ》	Welsh
《学俗》	school slang	《ニューイング》	New England
《海俗》	sailors' slang	《豪》	Australian
《韻俗》	rhyming slang	《ニュ》	New Zealand
《卑》	vulgar, taboo	《インド》	Anglo-Indian
《まれ》	rare	《カナダ》	Canadian
《幼児》	nursery	《南ア》	South Africa
《方》	dialectal	《カリブ》	Carib
【医】	医学	【気】	気象(学)
【遺】	遺伝学	【機】	機械
【印】	印刷	【旧約】	旧約聖書
【韻】	韻律学	【キ教】	キリスト教
【宇】	宇宙	【ギ神】	ギリシア神話
【映】	映画	【ギ正教】	ギリシア正教
【泳】	水泳	【魚】	魚類(学)
【園】	園芸	【空】	航空
【音】	音声学	【軍】	軍事
【化】	化学	【経】	経済(学)
【海】	海語, 航海	【劇】	演劇
【解】	解剖学	【建】	建築(学)
【画】	絵画	【言】	言語(学)
【楽】	音楽	【工】	工学
【カト】	カトリック	【光】	光学
【眼】	眼科(学)		

【鉱】	鉱物(学), 鉱山	【哲】	哲学
【古キ】	古代ギリシア	【電】	電気
【古史】	古代史	【電算】	電算機
【古生】	古生物	【天】	天文学
【古ロ】	古代ローマ	【統】	統計学
【昆】	昆虫(学)	【動】	動物(学)
【財】	財政(学)	【図書】	図書館(学)
【史】	歴史(学)	【日】	日本
【歯】	歯科(学)	【農】	農業, 農学
【紙】	製紙	【馬】	馬術
【写】	写真	【バスケ】	バスケットボール
【社】	社会学	【バド】	バドミントン
【狩】	狩猟	【美】	美術
【宗】	宗教	【フェン】	フェンシング
【修】	修辞学	【服】	服飾
【商】	商業	【フット】	フットボール
【晶】	結晶	【プロ】	プロテスタント
【城】	築城	【保】	保険
【植】	植物(学)	【ボウル】	ボウリング
【心】	心理学	【ボク】	ボクシング
【人】	人類学	【法】	法学, 法律(学)
【新約】	新約聖書	【砲】	砲術
【数】	数学	【紡】	紡績
【スポ】	スポーツ	【簿】	簿記
【生】	生物(学)	【紋】	紋章(学)
【政】	政治(学)	【野】	野球
【聖】	聖書	【冶】	冶金
【生化】	生化学	【薬】	薬学
【生保】	生命保険	【郵】	郵便, 郵趣
【染】	染色, 染料	【窯】	窯業
【測】	測量	【理】	物理学
【地】	地質学	【力】	力学
【畜】	畜産	【林】	林業
【地物】	地球物理学	【倫】	倫理学
【彫】	彫刻	【レス】	レスリング
【鳥】	鳥類(学)	【労】	労働
		【口神】	ローマ神話
		【論】	論理学

# 言語名の略形

AF	Anglo-French	Jav	Javanese
(Afr)	Africa	Jpn	Japanese
Afrik	Afrikaans	L	Latin
Akkad	Akkadian	LaF	Louisiana French
AL	Anglo-Latin	Latv	Latvian
Alb	Albanian	LG	Low German
Amh	Amharic	Lith	Lithuanian
AmInd	American Indian	M...	Middle/Medieval
AmSp	American Spanish	MDu	Middle Dutch
AN	Anglo-Norman	ME	Middle English
Arab	Arabic	MexSp	Mexican Spanish
Aram	Aramaic	MHG	Middle High German
Assyr	Assyrian	MLG	Middle Low German
(Austral)	Australia	ModGk	Modern Greek
Bulg	Bulgarian	ModHeb	Modern Hebrew
CanF	Canadian French	NL	Neo-Latin
Cat	Catalan	Norw	Norwegian
Celt	Celtic	O...	Old
Chin	Chinese	ODu	Old Dutch
Copt	Coptic	OE	Old English
Corn	Cornish	OF	Old French
Dan	Danish	OHG	Old High German
Du	Dutch	ON	Old Norse
E	English	OS	Old Saxon
Egypt	Egyptian	Pers	Persian
F	French	Pol	Polish
Finn	Finnish	Port	Portuguese
Flem	Flemish	Prov	Provençal
Frank	Frankish	Russ	Russian
Fris	Frisian	Sc	Scottish
G	German	Scand	Scandinavian
Gael	Gaelic	Sem	Semitic
Gk	Greek	Serb	Serbian
Gmc	Germanic	Serbo-Croat	Serbo-Croatian
Goth	Gothic	Skt	Sanskrit
Haw	Hawaiian	Slav	Slavonic
Heb	Hebrew	Sp	Spanish
Hind	Hindustani	Swed	Swedish
Hung	Hungarian	Syr	Syriac
Icel	Icelandic	Turk	Turkish
IE	Indo-European	(WInd)	West Indies
Ir	Irish	Yid	Yiddish
It	Italian		

## Shakespeare 作品の略形

<i>All's W</i>	<i>All's Well That Ends Well</i>	<i>Merch V</i>	<i>The Merchant of Venice</i>
<i>Antony</i>	<i>Antony and Cleopatra</i>	<i>Merry W</i>	<i>The Merry Wives of Windsor</i>
<i>As Y L</i>	<i>As You Like It</i>	<i>Mids N D</i>	<i>A Midsummer Night's Dream</i>
<i>Caesar</i>	<i>Julius Caesar</i>	<i>Much Ado</i>	<i>Much Ado about Nothing</i>
<i>Corio</i>	<i>Coriolanus</i>	<i>Othello</i>	<i>Othello</i>
<i>Cymb</i>	<i>Cymbeline</i>	<i>Pericles</i>	<i>Pericles</i>
<i>Errors</i>	<i>The Comedy of Errors</i>	<i>Rich II</i>	<i>Richard II</i>
<i>Hamlet</i>	<i>Hamlet</i>	<i>Rich III</i>	<i>Richard III</i>
<i>1 Hen IV</i>	<i>1 Henry IV</i>	<i>Romeo</i>	<i>Romeo and Juliet</i>
<i>2 Hen IV</i>	<i>2 Henry IV</i>	<i>Shrew</i>	<i>The Taming of the Shrew</i>
<i>Hen V</i>	<i>Henry V</i>	<i>Sonnets</i>	<i>Sonnets</i>
<i>1 Hen VI</i>	<i>1 Henry VI</i>	<i>Tempest</i>	<i>The Tempest</i>
<i>2 Hen VI</i>	<i>2 Henry VI</i>	<i>Timon</i>	<i>Timon of Athens</i>
<i>3 Hen VI</i>	<i>3 Henry VI</i>	<i>Titus</i>	<i>Titus Andronicus</i>
<i>Hen VIII</i>	<i>Henry VIII</i>	<i>Troilus</i>	<i>Troilus and Cressida</i>
<i>John</i>	<i>King John</i>	<i>Twel N</i>	<i>Twelfth Night</i>
<i>Kinsmen</i>	<i>The Two Noble Kinsmen</i>	<i>Two Gent</i>	<i>The Two Gentlemen of Verona</i>
<i>Lear</i>	<i>King Lear</i>	<i>Venus</i>	<i>Venus and Adonis</i>
<i>Love's L L</i>	<i>Love's Labour's Lost</i>	<i>Winter's</i>	<i>The Winter's Tale</i>
<i>Lucrece</i>	<i>The Rape of Lucrece</i>		
<i>Macbeth</i>	<i>Macbeth</i>		
<i>Measure</i>	<i>Measure for Measure</i>		

## 英訳聖書 (AV) 書名の略形

<i>Acts</i>	<i>The Acts of the Apostles</i>	<i>Ephes</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Ephesians</i>
<i>Amos</i>	<i>Amos</i>	<i>Esth</i>	<i>The Book of Esther</i>
<i>1 Chron</i>	<i>The First Book of the Chronicles</i>	<i>Exod</i>	<i>The Second Book of Moses, called Exodus</i>
<i>2 Chron</i>	<i>The Second Book of the Chronicles</i>	<i>Ezek</i>	<i>The Book of the Prophet Ezekiel</i>
<i>Col</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Colossians</i>	<i>Ezra</i>	<i>Ezra</i>
<i>1 Cor</i>	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians</i>	<i>Gal</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Galatians</i>
<i>2 Cor</i>	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians</i>	<i>Gen</i>	<i>The First Book of Moses, called Genesis</i>
<i>Dan</i>	<i>The Book of Daniel</i>	<i>Hab</i>	<i>Habakkuk</i>
<i>Deut</i>	<i>The Fifth Book of Moses, called Deuteronomy</i>	<i>Haggai</i>	<i>Haggai</i>
<i>Eccles</i>	<i>Ecclesiastes, or the Preacher</i>	<i>Heb</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Hebrews</i>
		<i>Hos</i>	<i>Hosea</i>

**Isa** The Book of the Prophet Isaiah  
**James** The General Epistle of James  
**Jer** The Book of the Prophet  
 Jeremiah  
**Job** The Book of Job  
**Joel** Joel  
**John** The Gospel according to St.  
 John  
**1 John** The First Epistle General of  
 John  
**2 John** The Second Epistle of John  
**3 John** The Third Epistle of John  
**Jonah** Jonah  
**Josh** The Book of Joshua  
**Jude** The General Epistle of Jude  
**Judges** The Book of Judges  
**1 Kings** The First Book of the Kings  
**2 Kings** The Second Book of the Kings  
**Lam** The Lamentations of Jeremiah  
**Lev** The Third Book of Moses, called  
 Leviticus  
**Luke** The Gospel according to St.  
 Luke  
**Mal** Malachi  
**Mark** The Gospel according to St.  
 Mark  
**Matt** The Gospel according to St.  
 Matthew  
**Mic** Micah  
**Nah** Nahum  
**Neh** The Book of Nehemiah  
**Num** The Fourth Book of Moses,  
 called Numbers  
**Obad** Obadiah  
**1 Pet** The First Epistle General of  
 Peter  
**2 Pet** The Second Epistle General of  
 Peter  
**Philem** The Epistle of Paul to Philemon  
**Philip** The Epistle of Paul the Apostle  
 to the Philippians  
**Prov** The Proverbs  
**Ps** The Book of Psalms  
**Rev** The Revelation of St. John the  
 Divine

**Rom** The Epistle of Paul the Apostle  
 to the Romans  
**Ruth** The Book of Ruth  
**1 Sam** The First Book of Samuel  
**2 Sam** The Second Book of Samuel  
**Song of Sol**  
 The Song of Solomon  
**1 Thess** The First Epistle of Paul the  
 Apostle to the Thessalonians  
**2 Thess** The Second Epistle of Paul the  
 Apostle to the Thessalonians  
**1 Tim** The First Epistle of Paul the  
 Apostle to Timothy  
**2 Tim** The Second Epistle of Paul the  
 Apostle to Timothy  
**Titus** The Epistle of Paul to Titus  
**Zech** Zechariah  
**Zeph** Zephaniah

### 外典 (Apocrypha)

**Baruch** Baruch  
**Bel and Dragon**  
 The History of the Destruction  
 of Bel and the Dragon  
**Ecclus** The Wisdom of Jesus the Son of  
 Sirach, or Ecclesiasticus  
**1 Esd** I Esdras  
**2 Esd** II Esdras  
**Judith** Judith  
**1 Macc** The First Book of the  
 Maccabees  
**2 Macc** The Second Book of the  
 Maccabees  
**Pr of Man**  
 The Prayer of Manasses  
**Rest of Esther**  
 The Rest of the Chapters of the  
 Book of Esther  
**Song of Three Children**  
 The Song of the Three Holy  
 Children  
**Susanna** The History of Susanna  
**Tobit** Tobit  
**Wisd of Sol**  
 The Wisdom of Solomon

# 発音記号表

<p>/記号/ 例 語</p> <p>/aɪ/ ice, mine, sky</p> <p>/aʊ/ out, bound, cow</p> <p>/ɑː, ɔː/ ox, ootton</p> <p>/ɑː/ alms, father, ah</p> <p>/ɑːr/ art, card, star</p> <p>/æ/ attic, hat</p> <p>/æ; ɑː/ ask, branch</p> <p>/b/ bed, rubber, cab</p> <p>/d/ desk, rudder, good</p> <p>/dʒ/ gem, adjective, judge</p> <p>/ð/ this, other, bathe</p> <p>/ɛ/ end, bell</p> <p>/eɪ/ aim, name, may</p> <p>/ɛə, *æə/ air, care, heir, prayer, there</p> <p>/ə/ ability, silent, lemon, upon, banana</p> <p>/ər/ butter, actor</p> <p>/əːr/ earn, bird, stir</p> <p>/əː, ʌ; ʌ/ courage, hurry, nourish</p> <p>/f/ fox, offer, if</p> <p>/g/ gum, beggar, big</p> <p>/h/ house, behind</p> <p>/ɪ/ ink, sit, city</p> <p>/i/ easy, curious</p> <p>/iː/ eat, seat, see</p> <p>/ɪər/ ear, beard, hear</p> <p>/j/ yes</p> <p>/k/ call, lucky, desk</p> <p>/l/ leg, melon, call</p>	<p>/記号/ 例 語</p> <p>/m/ man, summer, aim</p> <p>/n/ note, dinner, moon</p> <p>/ŋ/ ink, sing</p> <p>/ou; əʊ/ open, most, show</p> <p>/ɔː(:), ɑː/ dog, orange, soft</p> <p>/ɔː/ all, fall, saw</p> <p>/ɔːr/ order, cord, more</p> <p>/ɔɪ/ oil, coin, boy</p> <p>/p/ pay, upper, cup</p> <p>/r/ rain, sorry</p> <p>/s/ cent, fussy, kiss</p> <p>/ʃ/ ship, station, fish</p> <p>/t/ top, better, tent</p> <p>/tʃ/ chair, pitcher, match</p> <p>/θ/ think, pithy, both</p> <p>/ʊ/ good</p> <p>/u/ mutual, sensuous</p> <p>/uː/ ooze, food, too</p> <p>/ʊər/ poor, tour</p> <p>/v/ vine, cover, love</p> <p>/ʌ/ up, blood</p> <p>/w/ way</p> <p>/z/ zoo, busy, lose</p> <p>/ʒ/ measure, rouge</p> <p>ˈ 第1アクセント</p> <p>ˈˈ 第2アクセント</p> <p>ˈˈˈ 第3アクセント</p>
---	--

- ★ (1) 丸括弧：略しうる音：/stéɪf(ə)n/= /stéɪfən, stéɪfn/ // /(h)wéɪn/= /hwéɪn, wéɪn/
- (2) ˈ/: 次の子音が音節主音であることを表わす：/bátˈl/= /bátl/.
- (3) /æ; ɑː/ などのセミコロン (;) の左は米音, 右は英音を表わす：  
ask /æsk; ɑːsk/ は米音 /æsk/, 英音 /ɑːsk/ の意. **welfare státe** /  
ˈwɛlfəre ˈstáte/ は英では **welfare státe** の意.
- (4) /(:)/ は一般に長母音と短母音の両方の発音があることを表わすが, /ɔː(:)/ は, 米音 /ɔː/, 英音 /ɔ/ の意.

- (5) /ɑ:r/ /ɛər, \*ær/ /ə:r/ /ər/ /ɪər/ /ɔ:r/ /ʊər/ の /r/ は、英音では切れ目なしに母音が続く場合にのみ発音される /r/ を表わす。すなわち子音の前と語末であとに母音が続かないときは発音されない。米音では先行する /ə/ に影響を与えてそれとともに /ər/ と表わされる「r 音色のついた母音 (r-colored vowel)」になる。また米音では、/ɑ:r/ は /ɑər/, /ɔ:r/ は /ɔər/ と発音される。/ə/ は英音でのみ発音され、米音では発音されない /ə/ で表わす。
- (6) /,\*/ /,\*/ の ... はそれぞれ「米音 [英音] としては ... の発音もある」の意 (⇔ 「凡例」2.3b)。
- (7) 「発音表記のない本見出し語の発音」については「凡例」2.10, 2.11 参照。

## 非英語音およびその他の記号

/ʏ/	Bürger, Lunéville (唇をまるめて /ɪ/ を発音する)	/x/	Bach, loch (後舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音)
/y/	Psychologie (唇をまるめて /i/ を発音する)	/ɥ/	ennui, nuit blanche (/y/ に対応する半母音)
/ø/	feu <sup>2</sup> , Neuchâtel (唇をまるめて /e/ を発音する)	/ɲ/	Bourgogne, Montaigne (口蓋化した /n/)
/œ/	jeunesse, œuf (唇をまるめて /ɛ/ を発音する)	/w/	ugh (唇をまるめない /u/; 日本語の「ウ」)
/ã/	pensée, sans (鼻音化した /a/)	/ɸ/	phew (両唇をせばめて出す無声摩擦音: 日本語の「フ」の音)
/ɛ̃/	Maintenon, vin rosé (鼻音化した /ɛ/)	/ʔ/	uh-oh /ʔʌʔðu/ (声門閉鎖音: 日本語の「アッ」(驚きの声)の「ッ」の音)
/õ/	bonsoir, garçon (鼻音化した /o/)	/◌̥/	hem /m̥m/ (無声化した /m/)
/œ̃/	chacun à son goût (鼻音化した /œ/)		
/ç/	Brecht, nicht wahr (中舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音)		



# 発音省略語尾一覧表

(詳しくは本文の各項を見よ)

- A** **-abil-ity** /əbɪləti/ **-able** /əb(ə)l/  
**-ably** /əbli/ **-adel-phous** /ədɛlfəs/  
**-age** /ɪdʒ/ **-al** /(ə)l/ **-an** /ən/  
**-ance** /(ə)ns/ **-an-cy** /(ə)nsi/  
**-an-drous** /ændrəs/ **-ant** /(ə)nt/  
**-arch** /ɑːrk/ **-ar-chy** /ɑːrki/ **-ard**  
 /ɑːrd/ **-ary** /ˈ-əri, ˈəri; ˈ(-)əri/  
**-as-ter** /æstər, æs-/ **-ate** /ət, èit/  
**-a-tion** /éɪʃ(ə)n/
- B** **-bi-ont** /baíənt/ **-bi-o-sis** /  
 baíousəs, bi- (pl **-ses** /-siːz/) **-blast**  
 /blæst; blɑːst/ **-blas-tic** /blæstɪk/
- C** **-carp** /káːrp/ **-car-pic** /káːrɪk/  
**-car-pous** /káːrɒs/ **-car-py** /  
 káːrpi/ **-cene** /siːn/ **-cen-tric** /  
 séntɪk/ **-ce-phal-ic** /səfæliːk, kɛ-/  
**-ceph-a-lous** /sɛfələs/ **-ceph-a-ly** /  
 sɛfəli/ **-cer-cal** /sɔːrk(ə)l/ **-chore**  
 /kɔːr/ **-chrome** /krəʊm/ **-ci-dal**  
 /saídəl/ **-cide** /saíd/ **-cli-nal** /  
 kláɪnəl/ **-cline** /kláɪn/ **-cli-nous** /  
 kláɪnəs/ **-coc-cus** /kákəs/ **-coel** /  
 siːl/ **-coele** /siːl/ **-cot-yl** /kát(ə)l/  
**-crat** /kræt/ **-crat-ic** /krætɪk/  
**-cy** /si/ **-cyst** /sɪst/ **-cyte** /sàit/
- D** **-dac-ty-lous** /dæktələs/ **-dac-ty-ly**  
 /dæktəli/ **-den-dron** /déndrən/  
**-derm** /dɔːrm/ **-der-ma** /dɔːrmə/  
**-der-mic** /dɔːrmɪk/ **-der-mis** /  
 dɔːrməs/ **-dom** /dəm/ **-drome** /  
 drəʊm/
- E** **-ean** /iən/ **-ec-to-my** /éktəmi/ **-ed**  
 /əd, d, t/ **-ee** /íː/ **-eer** /íər/ **-en** /  
 (ə)n/ **-ence** /(ə)ns/ **-en-cy** /(ə)nsi/  
**-ent** /(ə)nt/ **-er** /ər/ **-ern** /ərn/  
**-ery** /(ə)ri/ **-es** /əz, ɪz, z, s/ **-ese** /  
 íːz, íːs/ **-ess** /əs, ɪs, és/ **-est** /əst,  
 ɪst/ **-eth** /əθ, ɪθ/
- F** **-fa-cient** /féɪʃ(ə)nt/ **-fac-tion** /  
 fæktʃ(ə)n/ **-fac-tive** /fæktɪv/ **-fest**  
 /fɛst/ **-flo-rous** /flɔːrəs/ **-fold** /  
 fəʊld/ **-form** /fɔːrm/ **-fuge** /  
 ˈ-ʃjùːdʒ/ **-ful** /fʊl, f(ə)l/
- G** **-gam-ic** /gæmɪk/ **-ge-net-ic** /  
 dʒənétɪk/ **-genic** /dʒénɪk,  
 dʒɪːnɪk/ **-glot** /glət/ **-gon** /  
 ˈ-ɡàn, -gən; -gən/ **-grade** /  
 grèɪd/ **-gram** /græm/ **-graph** /  
 græf; grɑːf/ **-graph-ic** /græfɪk/  
**-graph-i-cal** /græfɪk(ə)l/
- H** **-he-dral** /híːdrəl, "héd-/  
**-he-dron** /híːdrən "héd-/ (pl ~s,  
**-dra** /-drə/) **-hip-pus** /hípəs/  
**-hood** /hʊd/
- I** **-ian** /iən/ **-ibil-ity** /əbɪləti/  
**-ible** /əb(ə)l/ **-ibly** /əbli/ **-ic** /  
 ˈɪk/ **-i-cal** /ˈɪk(ə)l/ **-ing** /ɪŋ/  
**-ish** /ɪʃ/ **-ism** /ɪz(ə)m/ **-ist** /  
 ɪst/ **-ite** /àit/ **-ive** /ˈ-ɪv/  
**-iza-tion** /əzɛɪʃ(ə)n; àɪ- / **-ize** /  
 àɪz/
- L** **-less** /ləs/ **-let** /lət/ **-like** /  
 laɪk/ **-li-ness** /lɪnəs/ **-ling** /  
 lɪŋ/ **-lite** /ləɪt/ **-lith** /liθ/  
**-lith-ic** /lɪθɪk/ **-ly** /li, i/ **-lyte** /  
 laɪt/
- M** **-ma-nia** /méniə, nja/ **-ment** /  
 mənt/ **-mer** /mər/ **-mere** /  
 miər/ **-mer-ism** /mərɪz(ə)m/  
**-met-ric** /métrɪk/ **-met-ri-cal** /  
 métrɪk(ə)l/ **-m-e-try** /ˈ-mətri/  
**-mo-bile** /moubiːl, mə-/  
**-morph** /mɔːrf/ **-mor-phic** /  
 mɔːrfɪk/ **-mor-phism** /  
 mɔːrfɪz(ə)m/ **-mor-pho-sis** /  
 mɔːrfəsəs (pl **-ses** /-siːz/)   
**-mor-phous** /mɔːrfəs/  
**-mor-phy** /mɔːrfi/ **-most** /  
 mɔʊst, "məst/ **-my-cete** /  
 máisiːt, ˈ- / **-my-cin** /  
 máis(ə)n/
- N** **-ness** /nəs/

<b>O</b>	<b>-odont</b> /ədánt/ <b>-oid</b> /ðɪd/ <b>-or</b> / ər/ <b>-os·to·sis</b> /astóusəs/ ( <i>pl</i> <b>-ses</b> / sɪ:z/, ~ <b>es</b> ) <b>-ous</b> /əs/	<b>W</b>	<b>-ward</b> /wərd/ <b>-wards</b> /wərdz/
<b>P</b>	<b>-path</b> /pæθ/ <b>-pathic</b> /pæθɪk/ <b>-ped</b> /pɛd/ <b>-pede</b> /pi:d/ <b>-phage</b> / fɛɪdʒ, fá:ʒ/ <b>-pha·gia</b> /fɛɪdʒiə/ <b>-phane</b> /fɛɪn/ <b>-phil</b> /fɪl/ <b>-phile</b> / fáɪl/ <b>-phil·ia</b> /fíliə/ <b>-phil·ic</b> / fílik/ <b>-phobe</b> /fóub/ <b>-pho·bia</b> / fóubiə/ <b>-pho·bic</b> /fóubɪk/ <b>-phone</b> /fóun/ <b>-phore</b> /fɔ:r/ <b>-pho·re·sis</b> / fəri:səs/ ( <i>pl</i> <b>-ses</b> /-si:z/) <b>-phyll</b> / fɪl/ <b>-phyl·lous</b> /fíləs/ <b>-phyte</b> / fáɪt/ <b>-phyt·ic</b> /fítɪk/ <b>-pla·sia</b> / pléɪʒ(i)ə; plæziə/ <b>-pla·sy</b> /plèisi, plæsi/ <b>-plasm</b> /plæz(ə)m/ <b>-plast</b> / plæst/ <b>-plas·tic</b> /plæstɪk/ <b>-plas·ty</b> /plæsti/ <b>-ple·gia</b> /plf:dʒ(i)ə/ <b>- ple·gy</b> /plf:dʒi/ <b>-ploid</b> /plɔɪd/ <b>- pod</b> /pàd/ <b>-poi·e·sis</b> /pɔɪf:səs/ ( <i>pl</i> <b>-ses</b> /-si:z/) <b>-poi·et·ic</b> /pɔɪétɪk/	<b>Y</b>	<b>-y</b> /i/
<b>R</b>	<b>-ress</b> /rəs/ <b>-ry</b> /ri/	<b>Z</b>	<b>-zoa</b> /zóuə/ <b>-zo·ic</b> /zóuɪk/ <b>-zoon</b> /zóun, *-ən/ ( <i>pl</i> <b>-zoa</b> / zóuə/) <b>-zy·gous</b> /záɪgəs, zíg-/ <b>-zyme</b> /zàɪm/
<b>S</b>	<b>-s</b> /s, z/ <b>-saur</b> /sə:r/ <b>-sau·rus</b> / sɔ:rəs/ <b>-scape</b> /skèɪp/ <b>-scope</b> / skòup/ <b>-sep·al·ous</b> /sépələs/ <b>-ship</b> /ʃɪp/ <b>-some</b> <sup>1,2</sup> /səm/ <b>-some</b> <sup>3</sup> /sòum/ <b>-so·mic</b> /sóumɪk/ <b>-spore</b> /spɔ:r/ <b>-spor·ous</b> /-spɔ:rəs, -spərəs/ <b>-sta·sis</b> /stéɪsəs, stæəs, -stəsəs/ ( <i>pl</i> <b>-ses</b> /-si:z/) <b>-stat</b> / stæt/ <b>-stat·ic</b> /stætɪk/ <b>-ster</b> / stər/ <b>-stome</b> /stóum/ <b>-style</b> / stàl/		
<b>T</b>	<b>-tax·is</b> /tæksəs/ ( <i>pl</i> <b>-tax·es</b> / -si:z/) <b>-th</b> /θ/ <b>-the·ci·um</b> /θf:iəm, -si-/ <b>-the·ism</b> /θiiz(ə)m/ <b>-the·ist</b> / -θi:ɪst, -θiist/ <b>-therm</b> /θè:rm/ <b>-ther·my</b> /θə:rmi/ <b>-tome</b> /tòum/ <b>-to·nia</b> /tóuniə/ <b>-tron</b> /tràn/ <b>-trope</b> /tròup/ <b>-troph·ic</b> /tráfɪk, tróu-/ <b>-tro·phy</b> /-trəfi/ <b>-trop·ic</b> / trápɪk, tróu-/ <b>-tro·pism</b> / -trəpiz(ə)m, tróupiz(ə)m/ <b>-tro·pous</b> /-trəpəs/ <b>-tro·py</b> / -trəpi/ <b>-ty</b> /ti/ <b>-type</b> /tàɪp/		

# 新和英中辞典 第4版について

## この辞書の使い方

### I 見出し語

- 1 総収録語数は日常語も積極的に収録し約 7 万語とした。慣用語(句)と連語も収録語に数えた。
- 2 かな見出しとし、五十音順に配列した。外来語、外国の地名・人名などはカタカナ書きとした。
- 3 同じかなの場合は清音、濁音、半濁音の順にした。  
てんけん【点検】，でんげん【電源】  
はんぱ【飯場】，はんぱ【半端】
- 4 つまる音、拗音の表記に用いた小さい字(つ、や、ゆ、よ)は、大きい字のあとにした。  
はつか【二十日】，はっか<sup>1</sup>【発火】，はっか<sup>2</sup>【薄荷】  
しゃ【視野】，しゃ<sup>1</sup>【社】，しゃ<sup>2</sup>【紗】，しゃ<sup>3</sup>【斜】
- 5 長音を「ー」で表記した場合、例えばインターン、イースト、ウーマンリブ、ウエーブ、イコールは、インタアン、イイスト、ウウマンリブ、ウエエブ、イコオールの位置に配列した。
- 6 同音語の順序は原則として次のようにした。
  - (1) カタカナ表記の見出し語はひらがな表記のあとに配列した。
  - (2) 漢字表記を伴う見出し語を先にし、かな表記だけのものをあとにした。
  - (3) 漢字表記を示したもので漢字の字数が同じものについては、1 字目の画数の少ないものから多いものへと配列した。また 1 字目の画数が同じときは 2 字目の画数の順に配列した。
  - (4) 同音語については他の見出し語との相互参照のための検索の便を考えて右肩に番号をつけた。  
ぼたん【牡丹】，ポタン  
さる<sup>1</sup>【申】，さる<sup>2</sup>【猿】，さる<sup>3</sup>【去る】，さる<sup>4</sup>【然る】  
その<sup>1</sup>【園】，その<sup>2</sup>  
いし<sup>1</sup>【石】，いし<sup>2</sup>【医師】，いし<sup>3</sup>【意志】，いし<sup>4</sup>【意思】，いし<sup>5</sup>【遺志】
- 7 独立しては用いられない語(助詞・接頭辞・接尾辞など)を見出しに立てる場合は、ハイフンをつけて、独立語の後に置いた。  
で<sup>1</sup>【出】，で<sup>2</sup>〈それで〉…，  
-で〈場所〉…  
まい【舞】，まい-【毎…】，-まい<sup>1</sup>【…枚】，-まい<sup>2</sup>

- 8 漢字の使用は常用漢字の範囲にとどめるのを原則とするが、意味の別を明らかにするためにその範囲外のものを用いることもある。
- 9 連語は見出し語があとにつくものは句例扱いとし、前につくものは行を改めてボールド体活字で示し、五十音順に配列した。
- 10 慣用語(句)は見出し語のあとの助詞によって「は」「が」「の」「を」「に」の順に配列した。
- 11 侮蔑的または差別的であるととられるおそれのある見出し語や表現に関してはその右肩に × 印を添付して注意を促した。また訳語の差別的な英語には ★ 印をつけて注記を入れた。

## II 訳語

- 1 日本語の語義を克明に分析し理解しやすいように数字を用いて語義区分を施した。
- 2 英語で記述されている語義には理解度を深めるために〈 〉を用いて適宜平易な日本語を補充することにつとめた。
- 3 語義区分をする必要がない場合でもいくつかの語義を与える場合には主要なもの、普通のものを先にした。その場合〈 〉を用いて意味の区別を示し、必要に応じてさらに ( ) 内に説明を加えた。また英文を書くときの助けになるよう( )を用いてコロケーション (collocation) も示した。

ところ【所, 処】 1 〈場所〉 a place; a spot (狭い); a scene (現場); a seat (所在地) ㊦ 行きたい[住みたい]所 the place one wants to go (to) [live (in)] ((★ このように, place に続く不定詞を含む句では前置詞 to, in は省略できる))

うけおう【請け負う】 1 〈契約する〉 contract ((for the work, to do)); get [(fml)] receive] a contract ((for sth from sb)) ㊦ 請け負わせる give sb a contract ((for)); let a contract ((to sb)); farm ((the work)) out ((to sb))

**文例** 彼はその家の建築を5千万円で請け負った。

He has contracted to build the house for 50 million yen.

- 4 この辞書は全般的に現代英語で用いられる普通の表現を示すことを眼目としているので、例えば, depend on [upon] という表記は採らず, depend on だけとしてある。will [shall] となる可能性のある場合も will だけにとどめてある。文脈から考えて, upon, shall でなければ適切を欠くと思われる時に限って upon, shall を用いた。He is older than I. の形を採らずに, He is older than me. としたのも同じ趣旨である(より<sup>3</sup> 用法 参照)。
- 5 訳語・訳文のうちで、使用域の点で注意を要するものについては、(fml), (口語), (俗), (卑), (戯言), (小児語) などの表示をした。

- (1) ((*fml*)) の表示は formal (「言葉が形式ばった」の意) の省略形である。日本語でいう「文語」よりももっと意味を広げて、堅い感じをともなう英語にすべてつけてある。この表示は文脈によってきまる相対的なものであって、ある特定の語が常に ((*fml*)) であるとは限らない。例えば、「手を伸ばす」を *extend one's arm* と表現するのは ((*fml*)) であるが、一般的に物を「伸ばす」意味で用いられる *extend* は ((*fml*)) ではない。 *get* [*grow*, ((*fml*)) *become*] *rich* の場合は *get*, *grow* に対して *become* は相対的に堅い感じになるので ((*fml*)) であるが、*become clear*, *become extinct* などの句では *get*, *grow* などは用いられず、*become* に堅い感じはないので ((*fml*)) ではない。 ((*fml*)) *confess* (to) *one's crime* [*sin*]; *confess that one has committed a crime*; ((*fml*)) *confess oneself guilty* のように、使い方によって ((*fml*)) となる例もある。また、かなりくだけた話の中でも、面白味をもたせるためにわざと ((*fml*)) の語を用いることも珍しくない。要は、((*fml*)) であることを承知の上で使うことである。なお、準専門語と考えられる用語、例えば *antibacterial* (抗菌性の), (the art of) *mnemonics* (記憶術) のような語については、特に ((*fml*)) の表示はしない。
- (2) ((口語)) の表示のある語句や文は日常会話で一般に用いられているが、言葉使いに気をつけねばならないような場面ではあまり用いられない、ややくだけた表現である。
- (3) ((俗)) はだいたい英語の *slang* に当たる。学生・同僚など親しい者同士の間だけで、その会話に生き生きとした感じを与えるためによく用いられるが、文章に書く際はもちろん、一般の会話でも避けられる言葉にこの表示をつけた。この中には、性などに関するタブー語なども含まれているし、はやりすたりもあるのでその言葉のフィーリングがよくわからないときは、用いないほうが無難である。なおこれらの表示 ((*fml*)), ((口語)), ((俗)), ((米)), ((英)) など) は同一項目内の同じ事項については、繰り返してつけないことを原則とした。

- 6 訳語の名詞に不定冠詞をつけてあるのは可算名詞 (countable noun), 無冠詞のものは不可算名詞 (uncountable noun) であるが, 不定冠詞が ( ) に入れてある場合は, 可算・不可算の両様の用法があることを示す. 用法上注意すべき点があるときは, 必要に応じて注を加えてある. また, 可算名詞のうちで, 複数形で用いられることが特に多いものについては,

**しげん**<sup>2</sup>【資源】 a (natural) resource; (natural) resources  
のような記載法を採った項目もある. 複数で用いられるのが普通の場合には

**そうい**<sup>2</sup>【藻類】〔植〕(the) algae ((★algae は alga の複数形であるが単数形で用いられることはほとんどない)); seaweeds; waterweeds.  
のように記載した.

- 7 複数形が不規則変化をするものについては (( )) を用いて以下のように表記した.

**ちそう**<sup>2</sup>【地層】 a (geologic) stratum ((複) -ta)  
規則変化・不規則変化の両様の变化のあるものについては,  
**だいち**<sup>2</sup>【台地】 …a plateau ((複) ~s, -teaux)  
のように表示した.

語尾が -o で終わる語についても, a photo ((複) ~s) / a potato ((複) ~es) / a mosquito ((複) ~(e)s) という記載をした. この最後の例は mosquitoes, mosquitos の両様があることを示す.

- 8 動植物名には英名がないものや, たとえあっても専門的に過ぎて一般には通じないものもある. 例えば, 貝のあさりを a Japanese little neck と訳しても実用性がないので, この辞書では an asari clam とした. ひぐらしは a higurashi cicada; a clear-toned cicada; an evening cicada とした.

- 9 日本の事物で相当する英語がない場合は, 英米人にその事物を説明するのに役立つような簡略な定義を示した.

**いただく**【頂く, 戴く】…4 <飲食する> have; eat; drink; take. **文例** もう結構です. 充分頂きました. No, thank you. I have had enough. ((★食事を始めるときの「いただきます」は英語ではいわない. ただし, 敬虔なクリスチャンの家庭では, 食前または食後に短い祈りを捧げるが, それを英語では say grace という)).

10 訳語のなかでイタリック体にしたものは、外来語でまだ完全には英語化されていないものである。

【万年雪】 perpetual snow (on the slopes of Mt. Everest); ((*fml*)) eternal [perennial] ((alpine)) snows; 『地質』(ドイツ語) *firm* (snow); (フランス語) *névé*.

日本語から英語に入ったものについても同じ扱いをしたものがあるが、その場合は単複同形とみなして、複数語尾の ~s を付した形はないものとした。

きもの【着物】〈和服〉 a kimono  
ぞうり【草履】…(a pair of) zori

11 *one, one's, oneself, sb* (=somebody), *sb's* (=somebody's), *sth* (=something)もイタリック体にしてあるが、これは、文脈によって、I, we, my, our, myself, ourselves, he, she, they, his, Mary's, a dog, a pen, water, etc. のように自由に変化することを示す。このうち、だいたいにおいて、*one* は動作主または自分、*sb* は動作主とは別の他人あるいは他人を表わすと考えてよい。*sb, sth* を受ける代名詞は *he, it* とした。また、すべての動詞を代表する表記として *do* を用いた。

### Ⅲ 句例・文例

- 1 句例・文例の総数は約 10 万である。
- 2 句例で記載事項の多い項目では、たとえば まず動詞形の「…する」を最前部に記載した。またそれ以後は検索の便を図って見出し語のあとの助詞によって、「は」「が」「の」「を」「に」の順に配列した。
- 3 見出し語の語義のあとには 1 を用いて句例や連語を示した。そして、フルセンテンスの用例は **文例** として記載した。
- 4 文例は見逃しがちな日本語独特の表現を掲載するようつとめた。特に慣用語(句)の比喩的な使い方を明示したつもりである。
- 5 日常会話で用いられている表現にも留意した。
- 6 文例については、煩を避けて、((*fml*)), ((口語)) などの表示は特別に必要と思われるもの以外は省いてある。
- 7 諺については、日本語の諺に非常に近い英語の諺がある場合はそれを載せて、そのあとに『諺』の表示をつけた。日本語の諺にぴったりする諺がない場合が多いが、その場合には、使われなくなったものや、その趣旨にずれのあるものをあえて載せることはせず、日本語の諺の趣旨を伝える英語を載せた。その場合には『諺』の表示はつけない。

## IV 語法

訳語・訳文などだけでは十分に説明できない事柄については、随所に**【用法】**や注解を加えて語の使われ方の記述を説明した。やや長い解説は項目の末尾に**【用法】**で示し、短いものは関係箇所★のマークをつけて入れた。

よろしく**【宜しく】**…2〈あいさつ〉

¶…へどうぞよろしく please remember me to *sb*; give my (best [kind]) regards to *sb*; 〈肉親・親しい友人へ〉 give my love to *sb*…

**【用法】**「本年もどうぞよろしくお願いたします」、“(これは私の息子です.)どうぞよろしく”という表現は日本独特のあいさつで英語にはない。

★は英語の語法などを簡単に説明する際に用いられている。

でいり**【出入り】**1〈人の〉…2

〈収支〉 income and expenditure; receipts and expenditures (★日・英順序が逆になる点に注意)

## V スペリング

スペリングはアメリカ式綴りを優先させた:

honor; judgment; meter; offense; skillful; traveler.

ただし、(英)のスペリングが(米)と著しく異なる場合は(英) a gaol のように示した。また(英)独特の表現を示す場合のスペリングは英国式とした。

## VI 記号の用法

1 ( ( ) )

(1) 英米語の区別や他の外国語、使用域の表示(Ⅱ 5 参照), コロケーションの明示(Ⅱ 3 参照): ((米)), ((英)), ((米口語)), ((英俗)) **ゲバ(ルト)**【< ((ドイツ語)) *Gewalt*】

violence; force (守) ぼうりよく

¶内ゲバ violence within a (student) sect; internal strife.

(2) 訳語の補足, 前置詞・複数形の表示:

**せんし**<sup>1</sup> **【先史】** prehistory.

**【先史時代】** the prehistoric age;

((study)) the prehistory ((of Japan)) ¶先史時代の日本 prehistoric Japan.

この( ( ) )内に示したのは用例であって、必ずしも、それが絶対に必要であることを意味するものではない。例えば, wait ((for)) は He waited for her arrival. のような用法を示すが, 単に He waited. という文も, もちろんあるし, be incompatible ((with)) は That is incompatible with this. という構造を示したものであるが, They are incompatible. という文を排除するものではない。



2 < >

語義の区別を示す(Ⅱ3 参照).

3 ( )

(1) 省略できる語・句・綴りを示す:

【型紙】 a (paper) pattern / 見掛けによらず despite

appearances (to the contrary)

/ クラスの首席を占めている

be (at the) top of the class

/ <つげ材>

box (wood) / あみだ(くじ)を

やる / 【農具】 a farm (ing)

tool.

(2) 簡単な追加説明:

(選手が)調子を崩さないように

する keep in training / 【停

学】… (英)rustication (大学

の).

4 [ ]

(1) その前の語句の言い換え:

【定額】 a fixed amount

[sum] / 【入る】 come [go,

get, step] in [into] / 【仲裁人

者】 an arbitrator.

なお、言い換え部分の範囲がま

ぎらわしいときは、[ ] 内の

初めの部分を一部重複させて

ある:

I hadn't thought that he

was as foolish as that [(口

語) he was that foolish].

(2) 2 種または数種の語句を一括する:

学者 [芸術家] かたぎの人 a

man of scholarly type [an

artistic temperament] / 一般に

使用されている [されるように

なる] be in [come into]

general use.

5 [ ]

専門語などの表示:

【動】 【植】 【気象】 【音楽】 【諺】

【揭示】

6 <

語源を示す:

ゼッケン 【<(ドイツ語)】

Decken ((★Decke の複数形)】

¶ ゼッケン番号 a number ((on an athlete's singlet)).

7 ¶

句例・連語の初めを示す.

8 /

句例・文例の境界を示す.

9 |

同一の日本語に対して英語の文

例を 2 つ以上列記した場合の境

界を示す.

10 [ ]

参照項目の指示.

関連事項が他項目にある場合、[ ]

によってその事示し、この辞書

を有機的・総合的に利用できる

ように配慮してある.

(1) 同意語の参照項目の指示.

あさぶる 【朝風呂】 [ ] あさゆ.

(2) 主記述が表記されている見出し項目の指示.

**さげすむ【蔑む】**〔**けいべつ**〕(軽蔑する).

上記は「さげすむはけいべつ」の句例「軽蔑する」と同意語であることを示す.

**じざい【自在】**〔**じゆう**<sup>1</sup>〕**変幻自在**〔**へんげん**<sup>2</sup>〕(変幻自在).

上記は「変幻自在」が「へんげん<sup>2</sup>」の項目で連語として「変幻自在」と記述されていることを示す.

## 11 ★

(1) 用法・注解を示す (IV 参照).

(2) 和製英語を明示するときを用いた.

**【スキンシップ】**〔constant〕physical [personal] contact (between mother and infant); togetherness (★「スキンシップ」は和製英語)

## 12 -

(1) 複数形を表示する際に省略される共通音節を示す.

**さいきん<sup>1</sup>【細菌】** a bacillus (〔**複** -cilli]);

(2) 合成語に用いた.

**やがい【野外】** **野外の** out door; out-of-door; open-air; field /

## 13 ~

スワングダッシュ (swung dash) は複数形を表示する際直前に記述されている単数型を代用する意に用いた.

**だいたい<sup>3</sup>【大腿】**〔**解**〕 a thigh

**【大腿骨】** a thighbone

**【大腿部】** the femur (〔**複** ~s, femora]).

## 14 < >

句例の主語に人がくるか、事物がくるかを示す.

**【気が重い】**《事が主語》 lie heavy on one's mind; (口語)

have got one down; 《人が主語》 be [feel] depressed [down].

## VII 略語表

〔 <i>fm</i> 〕	formal	〔商〕	商業
〔俗〕	俗語	〔植〕	植物
〔卑〕	卑語	〔数〕	数学
〔医〕	医学	〔生化〕	生化学
〔化〕	化学	〔鳥〕	鳥類
〔貝〕	貝類	〔哲〕	哲学
〔海〕	海事	〔天〕	天文学
〔解〕	解剖学	〔電〕	電気
〔機〕	機械	〔動〕	動物
〔魚〕	魚類	〔物〕	物理学
〔劇〕	演劇	〔法〕	法律
〔建〕	建築	〔紋〕	紋章学
〔工〕	工学	〔葉〕	葉学
〔光〕	光学	〔論〕	論理学
〔鈹〕	鈹物	〔複〕	複数
〔昆〕	昆虫	<i>sb</i>	= somebody
〔史〕	歴史	<i>sth</i>	= something

上記以外のものについては〔映画〕〔航空〕〔測量〕〔体操〕などのように略記しないでフルに表記した.

# オックスフォード現代英英辞典 第6版について

## Abbreviations and grammar labels

used in the dictionary

<b>abbr.</b>	abbreviation	<b>NZE</b>	New Zealand English
<b>adj.</b>	adjective	<b>pl.</b>	plural
<b>adv.</b>	adverb	<b>pp</b>	past participle
<b>AmE</b>	American English	<b>prep.</b>	preposition
<b>AustralE</b>	Australian English	<b>pron.</b>	pronoun
<b>BrE</b>	British English	<b>pt</b>	past tense
<b>C</b>	countable noun	<b>sb</b>	somebody
<b>conj.</b>	conjunction	<b>ScotE</b>	Scottish English
<b>det.</b>	determiner	<b>sing.</b>	singular
<b>etc.</b>	et cetera (= and so on)	<b>sth</b>	something
<b>IrishE</b>	Irish English	<b>symp</b>	symbol
<b>n.</b>	noun	<b>U</b>	uncountable noun
<b>NorthE</b>	Northern English	<b>v.</b>	verb

## Symbols

used in the dictionary

~	replaces the headword of an entry	△	taboo (see <b>Labels</b> below)
■	shows new part of speech in an entry	<b>IDM</b>	idiom(s) section of an entry
▶	derivative(s) section of an entry	<b>PHR V</b>	phrasal verb(s) section of an entry

## Labels

used in the dictionary

The following labels are used with words that express a particular attitude or are appropriate in a particular situation.

**approving** expressions show that you feel approval or admiration, for example *dispassionate, feisty, petite*.

**disapproving** expressions show that you feel disapproval or contempt, for example *blinkered, faceless, jumped-up*.

**figurative** language is language that is used in a non-literal or metaphorical way, as in *He didn't want to cast a shadow on (= spoil) their happiness*.

**formal** expressions are usually only used in serious or official language and would not be appropriate in normal everyday conversation. Examples are *admonish, juncture, withhold*.

**humorous** expressions are intended to be funny, for example *impecunious, warpaint and not a dry eye in the house*.

**informal** expressions are used between friends or in a relaxed or unofficial situation. They are not appropriate for formal situations. Examples are *dodgy, party-pooper, zap*.

**ironic** language uses words to mean the opposite or something very different from the meaning they seem to have, as in *You're a great help, I must say!* (= no help at all)

**literary** language is used mainly in literature and imaginative writing, for example *aflame, halcyon, serpentine*.

**offensive** expressions are used by some people to address or refer to people in a way that is very insulting, especially in connection with their race, religion, sex or disabilities, for example *mulatto, slut, cretin*. They should be avoided.

**rare** words exist in English but are not commonly used. Sometimes there is a more frequent form of the word that is usually used instead. For example *illumine* means the same as *illuminate*, but is much less frequent.

**slang** is very informal language, mainly used in speaking and sometimes restricted to a particular group of people, for example people of the same age or those who have similar interests or do the same job. Examples are *dosh* and *dweeb*.

**spoken** expressions are used mainly in informal conversations, for example *Give me a break! or Don't ask!*

**technical** language is used by people who specialize in a particular subject area.

**written** expressions are used mainly in written language, for example *groundswell, hotfoot, vis-à-vis*.

△ Taboo words are likely to be thought by many people to be obscene or shocking and you should avoid using them. Examples are *bloody* and *shit*.

---

The following labels show other restrictions on the use of words.

**AmE** describes expressions, spellings and pronunciations used in American English and not in British English, for example *bleachers, blindside, blooper*.

**BrE** describes expressions used in British English and not in American

English, for example *jumble sale, agony aunt, chinwag*.

**dialect** describes expressions that are mainly used in particular regions of the British Isles, not including Scotland or Ireland, for example *beck, nowt*.

**old-fashioned** expressions are passing out of current use, for example *balderdash*, *beanfeast*, *blithering*.

**old use** describes expressions that are no longer in current use, for example *ere*, *hearken*, *perchance*.

**saying** describes a well-known fixed or traditional phrase, such as a proverb, that is used to make a comment, give advice, etc., for example *actions speak louder than words* and *it's all Greek to me*.

**™** shows registered trademarks that belong to manufacturing companies, even though the expressions may be commonly used in speech and writing, for example *Band-Aid*, *Frisbee*, *Vegeburger*.

---

## Key to verb patterns

---

### Intransitive verbs

[V] verb used alone  
*A large dog **appeared**.*

[V+adv./prep.]  
verb + adverb or prepositional phrase  
*A group of swans **floated by**.*

### Transitive verbs

[VN] verb + noun phrase  
*Jill's behaviour **annoyed me**.*

[VN+adv./prep.]  
verb + noun phrase + adverb or prepositional phrase  
*He **kicked the ball into the net**.*

### Transitive verbs + two objects

[VNN] verb + noun phrase + noun phrase  
*I **gave Sue a book for Christmas**.*

### Linking verbs

[V-ADJ] verb + adjective  
*His voice **sounds hoarse**.*

[V-N] verb + noun phrase  
*Elena **became a doctor**.*

[VN-ADJ] verb + noun phrase + adjective  
*She **considered herself lucky**.*

[VN-N] verb + noun phrase + noun phrase  
*They **elected him president**.*

### Verbs used with clauses or phrases

[V **that**] verb + **that** clause

[V (**that**)] *He **said that** he would prefer to walk.*

[VN **that**] verb + noun phrase + **that** clause

[VN (**that**)] *Can you **remind me that** I need to buy some milk?*

[V **wh-**] verb + **wh-** clause  
*I **wonder what** the job will be like.*

[VN **wh-**] verb + noun phrase + **wh-** clause  
*I asked him where the hall was.*

[V **to** inf] verb + **to** infinitive  
*The goldfish need to be fed.*

[VN **to** inf] verb + noun phrase **to** infinitive  
*He was forced to leave the keys.*

[VN inf] verb + noun phrase + infinitive without 'to'  
*Did you hear the phone ring?*

---

[V **-ing**] verb + **-ing** phrase  
*She never stops talking!*

[VN **-ing**] verb + noun phrase + **-ing** phrase  
*His comments set me thinking.*

### **Verbs + direct speech**

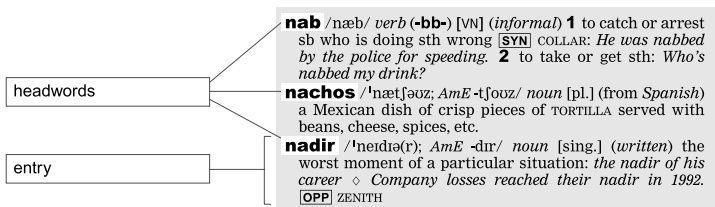
[V **speech**] verb + direct speech  
*'It's snowing,' she said.*

[VN **speech**] verb + noun phrase + direct speech  
*'Tom's coming to lunch,' she told him.*

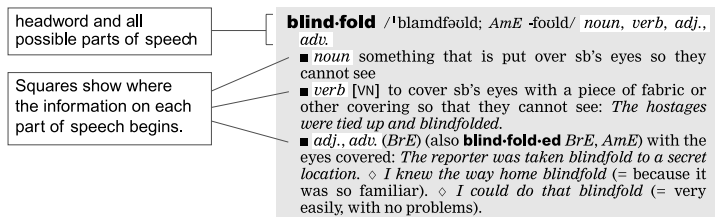
# Key to dictionary entries

## Finding the word

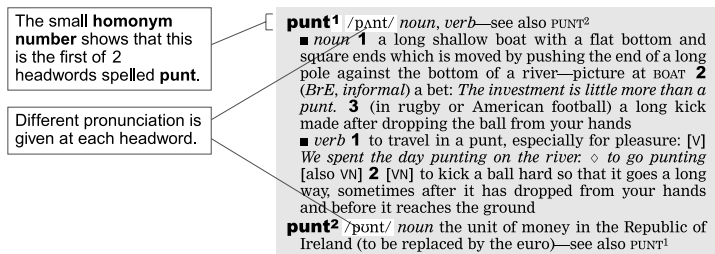
Information in the dictionary is given in **entries**, arranged in alphabetical order of **headwords**.



Some headwords can have more than one part of speech:



There are some words in English that have the same spelling as each other but different pronunciations and completely different meanings:



There are also some words in English that have more than one possible spelling or form, when both spellings or forms are acceptable. Information about these words is given at the most frequent spelling or form:

The variant spelling is given in brackets.

**ban-is-ter** (also **ban-nis-ter**) /'bænistə(r)/ *noun* (BrE also **ban-is-ters** [pl.]) the posts and rail at the side of a staircase: *to hold on to the banister / banisters*

At the entry for the less frequent spelling a cross-reference directs you to the main entry:

**ban-nis-ter** = BANISTER

American English variants and irregular forms of verbs are treated in the same way.

Some words that are **derivatives** of other, more frequent words, do not have their own entry in the dictionary, because they can be easily understood from the meaning of the word from which they are derived (the root word). They are given in the same entry as the root word, in a specially marked section:

The triangle shows where the derivatives section begins.

**dif-fi-dent** /'dɪfɪdənt/ *adj.* ~ (about sth) not having much confidence in yourself; not wanting to talk about yourself  
[SYN] SHY: a *diffident* manner / smile ◊ *He was modest and diffident about his own success.* ► **dif-fi-dence** /-dɒns/ *noun* [U]: *She overcame her natural diffidence and spoke with great frankness.* ► **dif-fi-dent-ly** *adv.*



## Finding the meaning

Some words have a lot of possible meanings and the entries for them can be very long. It is not usually necessary to read the whole entry from the beginning, if you already know something about the context or general meaning you are looking for:

Meanings that are closely related to each other share the same short cut.

Short cuts show the general meaning or context of each meaning.

### re-lief /rɪ'li:f/ noun

〔REMOVAL OF ANXIETY/PAIN〕 **1** [U, sing.] the feeling of happiness that you have when sth unpleasant stops or does not happen: *a sense of relief* ◇ *We all **breathed a sigh of relief** when he left.* ◇ *She sighed with relief.* ◇ *Much to **my relief** the car was not damaged.* ◇ *News of their safety came as a great relief.* ◇ *It was a relief to be able to talk to someone about it.* ◇ ***What a relief!*** **2** [U] ~ (from/of sth) the act of removing or reducing pain, anxiety, etc: *modern methods of **pain relief*** ◇ *the relief of misery/poverty/suffering*

〔HELP〕 **3** [U] food, money, medicine, etc. that is given to help people in places where there has been a war or natural disaster: ***famine relief*** ◇ *a relief agency/organization/worker* **4** [U] (especially AmE) financial help given by the government to people who need it

〔ON TAX〕 **5** [U] = TAX RELIEF: *relief on mortgage interest payments*

〔STH DIFFERENT〕 **6** [U, sing.] ~ (from sth) something that is interesting or enjoyable that replaces sth boring, difficult or unpleasant for a short period of time: *a few moments of **light relief** in an otherwise dull performance* ◇ *There was little **comic relief** in his speech.* ◇ *The calm of the countryside came as a welcome relief from the hustle and bustle of city life.*

〔WORKERS〕 **7** [C+sing./pl.v.] (often used as an adjective) a person or group of people that replaces another when they have finished working for the day or when they are sick: *The next crew relief comes on duty at 9 o'clock.* ◇ *relief drivers*

By looking down the left-hand side of the entry and just reading the short cuts, you can quickly find the meaning you want.

## Using the word

The entries in this dictionary contain a lot more than just the meanings of words. They show you how to use the word in your own speaking and writing.

pronunciation, with American pronunciation where it is different

**aard-vark** /'ɑ:dvɑ:k; AmE 'ɑ:rdvɑ:rk/ *noun* an animal from southern Africa that has a long nose and tongue and that eats insects

Stress marks show stress on compounds.

**'bird of paradise** *noun* (pl. **birds of paradise**) a bird with very bright feathers, found mainly in New Guinea

Irregular forms of verbs, with their pronunciation. Irregular plurals of nouns are also given.

prepositions, adverbs and structures that can be used with this word

examples of use in *italic type*

label giving information about usage

**cling** /kɪŋ/ *verb* (**clung**, **clung** /kɪŋ/) [V] **1** ~ (on) to sb/sth | ~ on/together to hold on tightly to sb/sth: *survivors clinging to a raft* ◊ *She clung onto her baby.* ◊ *Cling on tight!* ◊ *They clung together, shivering with cold.* **2** ~ (to sth) to stick to sth: *a dress that clings* (= fits closely and shows the shape of your body) ◊ *The wet shirt clung to his chest.* ◊ *The smell of smoke still clung to her clothes.* **3** ~ (to sb) (usually *disapproving*) to stay close to sb, especially because you are emotionally dependent on them: *After her mother's death, Sara clung to her aunt more than ever.* **PHRV** 'clinging to sth, clinging 'on to sth to be unwilling to get rid of sth, or stop doing sth: *Throughout the trial she had clung to the belief that he was innocent.* ◊ *He had one last hope to cling on to.* ◊ *She managed to cling on to life for another couple of years.*

fixed form of noun

information on different types of noun

common phrase in **bold type** in example, with extra explanation in brackets

word not in the defining vocabulary

**dock** /dɒk; AmE dɑ:k/ *noun, verb*

■ *noun* **1** [C] a part of a port where ships are repaired or where goods are put onto or taken off them: *dock workers* ◊ *a dock strike* ◊ *The ship was in dock.*—see also DRY DOCK **2** (docks) [pl.] a group of docks in a port and the buildings around them that are used for repairing ships, storing goods, etc. **3** [C] (AmE) = JETTY **4** [C] (AmE) a raised platform for loading vehicles or trains **5** [C] the part of a court of law where the person who has been accused of a crime stands or sits during a trial: *He's been in the dock* (= on trial for a crime) *several times already.* **6** [U] a wild plant of Northern Europe with large thick leaves that can be rubbed on skin that has been stung by NETTLES to make it less painful: *dock leaves*

comparatives and superlatives of adjectives given

information on usage of adjectives

**hearty** /'hɑ:ti; AmE 'hɑ:rti/ *adj., noun*

■ *adj.* (heart-ier, hearti-est) **1** [usually before noun] showing friendly feelings for sb: *a hearty greeting / reception / welcome* **2** (sometimes *disapproving*) loud, cheerful and full of energy: *a hearty and boisterous fellow* ◊ *a hearty voice / handshake* **3** [only before noun] (of a meal or sb's APPETITE) large; making you feel full: *a hearty breakfast* ◊ *to have a hearty appetite* **4** [usually before noun] showing that you feel strongly about sth: *He nodded his head in hearty agreement.* ◊ *Hearty congratulations to everyone involved.* ◊ *a hearty dislike of sth* **IDM** see HALE ► **heartiness** *noun* [U]

verb grammar codes

idioms section with special symbol **IDM**

phrasal verbs section with special symbol **PHR V**

**fetch** /fetʃ/ *verb* **1** (especially BrE) to go to where sb/sth is and bring them/it back: [VN] *to fetch help/a doctor* ◊ *The inhabitants have to walk a mile to fetch water.* ◊ *She's gone to fetch the kids from school.* ◊ [VNN] *Could you fetch me my bag?* **2** [VN] to be sold for a particular price: *The painting is expected to fetch £10 000 at auction.* **IDM** **fetch and 'carry (for sb)** to do a lot of little jobs for sb as if you were their servant **PHR V** **'fetch 'up** (informal, especially BrE) to arrive somewhere without planning to: *And then, a few years after leaving college, he somehow fetched up in Rome.*

Short notes help you to avoid common errors.

**exam** /ɪg'zæm/ (also formal **exam-in-ation**) *noun* a formal written, spoken or practical test, especially at school or college, to see how much you know about a subject, or what you can do: *to take an exam* ◊ (formal) *to sit an exam* ◊ *to pass/fail an exam* ◊ (BrE) *to mark an exam* ◊ (AmE) *to grade an exam* ◊ *an exam paper* ◊ *I got my exam results today.* ◊ (BrE) *She did well in her exams.* ◊ (AmE) *She did well on her exams.* ◊ *A lot of students suffer from exam nerves.* ◊ *He's practising hard for his piano exam.* **HELP** Use *take/do/sit an exam* not *write an exam*.

## Build your vocabulary

The dictionary also contains a lot of information that will help you increase your vocabulary and use the language productively:

Special symbols show synonyms and opposites.

**stable** /'steɪbl/ *adj., noun, verb*

■ *adj.* **1** firmly fixed; not likely to move, change or fail **SYN** STEADY: *stable prices / employment* ◊ *This ladder doesn't seem very stable.* ◊ *The patient's condition is stable* (= it is not getting worse). **2** (of a person) calm and reasonable; not easily upset **SYN** BALANCED: *Mentally, she is not very stable.* **3** (technical) (of a substance) staying in the same chemical or atomic state: *chemically stable* **OPP** UNSTABLE ► **sta-bly** /'steɪbli/ *adv.*

Cross-references refer you to information in other parts of the dictionary:

**Compare** refers you to another word with a contrasted meaning.

**See also** refers you to another word with a similar or related meaning.

**jam** /dʒæm/ *noun, verb*

■ *noun*

[[SWEET FOOD]] **1** [U, C] a thick sweet substance made by boiling fruit with sugar, often sold in JARS and spread on bread: *strawberry jam* ◊ *recipes for jams and preserves* ◊ (BrE) *a jam doughnut*—compare JELLY, MARMALADE—picture on page A1

[[MANY PEOPLE/VEHICLES]] **2** [C] a situation in which it is difficult or impossible to move because there are so many people or vehicles in one particular place: *The bus was delayed in a five-mile jam.* ◊ *As fans rushed to leave, jams formed at all the exits.*—see also TRAFFIC JAM

**IDM** **be in a 'jam** (informal) to be in a difficult situation **IDM** **jam to'morrow** (BrE, informal) good things that are promised for the future but never happen: *They refused to settle for a promise of jam tomorrow.*—more at MONEY

---

# Understanding definitions

---

All the definitions in the dictionary are written using a vocabulary of 3000 common words. This makes them clear and easy to understand.

Reading through the following points before you start to use the dictionary will make understanding the definitions even simpler.

## Important

The following are used a very large number of times:

**sb** = somebody/someone

**sth** = something

**etc.** = 'and other things of the same sort'

For example, if you say that something is 'used in books, newspapers, etc.', you mean that you are also including magazines and journals.

**particular** is used to emphasize that you are referring to one individual person, thing or type of thing and not others.

**especially** is used to give the most common or typical example of something. For example, the meaning of the verb **to train** is shown as 'to prepare yourself for a *particular* activity, *especially* a sport'

## Describing objects and substances

The definition might refer to the **shape** and or **size** of an object. Make sure that you know what the following words mean: *round, square, circular, hollow, solid, broad, narrow*.

Other **features** of the object might be mentioned:

**appearance:** *simple, plain, complicated, decorative, rough, smooth, pointed*

**colour:** *dark, light, pale, bright, coloured, colourless*

According to its **function**, the object might be a *container, device, instrument, machine, mechanism or tool*.

It might be **made of** *fabric or cloth* (including *cotton, wool, fur, silk*), *metal* (including *iron, steel, gold, silver*) or *glass*.

**Material** is a general word that means anything that something is made of. For example a **cushion** is 'a fabric bag filled with soft *material*', and **adobe** is 'mud that is... used as a building *material*'.

**Matter** [U] is any substance that physically exists, used especially when defining more technical words. For example, a technical meaning of **suspension** is 'a liquid with very small pieces of solid matter floating in it'.

A **substance** may be *liquid* or *solid* or it may be a *gas*.

REMEMBER a **vehicle** could be a *car, lorry/truck/van or train*. An **aircraft** could be a *plane* or a *helicopter*.

## Describing food

**Food** and **drink** are described as *bitter, sweet, salty, sour, or spicy*. An amount of a food prepared in a particular way and served at a meal is called a **dish**.

## Describing people

**People** (or *human beings*) are *male or female, adults or children*. They, their **behaviour** or their **attitude** could be *friendly, bad-tempered, aggressive, honest, dishonest, sincere, calm, anxious, nervous, pleasant, unpleasant, intelligent, stupid, polite or rude*.

The **way** or **manner** in which somebody does something may be important.

People do things *deliberately or on purpose* (= they mean to do it) or accidentally or *by mistake* (= they do not mean to do it).

Somebody may have or show a **quality** or **feeling** such as *respect, interest, pleasure, skill, emotion, excitement, enthusiasm, sympathy, courage or determination*. Or they may show a **lack of** one of these qualities or a **desire to** do something.

## Describing organizations

An **organization** may be a *business, a company, an institution, a club or a group of people* who work together for a particular aim. The people who lead an *organization, a government or society* can be called people *in authority*.

## Describing actions

An **event** may be a *ceremony, a festival or a celebration*. It could be *public, private, official or social*.

An **occasion** is a time when something happens. For example, a **referendum** is 'an *occasion* when all the people of a country can vote on an important issue'.

Something that somebody does, or something that happens may be described as an *act, an action, an activity or a process* (= a series of connected actions). When a noun is very closely linked to a verb, it may be defined in terms of the verb as *the act/ action/activity/process of...* For example, one of the meanings of **achievement** is 'the *act or process* of achieving sth'.

Your **experience** [U] is the things you have done and the knowledge you have gained; *an experience* [C] is something that has happened to you. For example, **cosmopolitan** means 'having or showing wide *experience* of people and things'. **Conversion** is 'the process or *experience* of changing your religion'.

Things happen *repeatedly* (= several times, one after the other), *continuously* (= without stopping), *occasionally* or *rarely* (= not very often).

## ***Describing situations***

A **matter** [C] is a subject or situation that you must consider or deal with.

For example, a **case** is ‘a *matter* that is being officially investigated...’

**State** and **condition** are both used to describe how something or somebody looks or is physically or mentally. A medical **condition** is a particular health problem that somebody has.

A situation that exists or a *habit* or *practice* that somebody has can be described as *the fact of...* or *the practice of...* For example, **gender** is ‘*the fact of* being male or female’.

## ***Describing ideas***

A strong opinion can be called a *belief*. A *set of beliefs* can be a *theory* about a particular subject. Some actions are *the expression of* particular ideas. A set of beliefs and practices can make a whole *system*, especially a *political* or *economic* system such as **capitalism**.

---

# Numbers

---

- 1040 form** /<sub>1</sub>ten <sup>1</sup>fɔ:ti fɔ:m; AmE <sup>1</sup>fɔ:rti fɔ:rm/ *noun* (in the US) an official document in which you give details of the amount of money that you have earned so that the government can calculate how much tax you have to pay
- 12** /twelv/ *noun* (in Britain) a label that is given to a film/movie to show that it can be watched legally only by people who are at least twelve years old; a film/movie that has this label: *I can take the kids too – it's a 12.*
- 15** /<sub>1</sub>fɪf'ti:n/ *noun* (in Britain) a label that is given to a film/movie to show that it can be watched legally only by people who are at least fifteen years old; a film/movie that has this label
- 18** /<sub>1</sub>eɪ'ti:n/ *noun* (in Britain) a label that is given to a film/movie to show that it can be watched legally only by people who are at least eighteen years old; a film/movie that has this label
- 18-wheeler** /<sub>1</sub>eɪtɪ:n <sup>1</sup>wi:lə(r)/ *noun* (AmE) a very large truck with nine wheels on each side
- 20/20 vision** /<sub>1</sub>twenti twenti <sup>1</sup>vɪʒn/ *noun* the ability to see perfectly without using glasses or CONTACT LENSES
- 2.1** /<sub>1</sub>tu: <sup>1</sup>wan/ *noun* the upper level of the second highest standard of degree given by a British or an Australian university: *I got a 2.1.*
- 2.2** /<sub>1</sub>tu: <sup>1</sup>tu:/ *noun* the lower level of the second highest standard of degree given by a British or an Australian university
- 24-hour clock** /<sub>1</sub>twenti fɔ:r aʊə <sup>1</sup>klɒk; AmE aʊə <sup>1</sup>klɑ:k/ *noun* the system of using twenty four numbers to talk about the hours of the day, instead of dividing it into two units of twelve hours
- 24/7** /<sub>1</sub>twenti fɔ: <sup>1</sup>sevən; AmE fɔ:r/ *adv.* (informal) twenty-four hours a day, seven days a week (used to mean 'all the time'): *She's with me all the time—24/7.*
- 3-D** (also **three-D**) /<sub>1</sub>θri: <sup>1</sup>di:/ *noun* [U] the quality of having, or appearing to have, length, width and depth: *These glasses allow you to see the film in 3-D.*
- 35mm** /<sub>1</sub>θɜ:tɪfɑ:v <sup>1</sup>mɪlɪmɪ:tə(r); AmE <sub>1</sub>θɜ:rti-/ *noun* the size of film that is usually used in cameras for taking photographs and making films/ movies
- 4x4** /<sub>1</sub>fɔ: baɪ <sup>1</sup>fɔ:/; AmE <sub>1</sub>fɔ:r baɪ <sup>1</sup>fɔ:r/ *noun* a vehicle with a system in which power is applied to all four wheels, making it easier to control
- 911** /<sub>1</sub>nain wan <sup>1</sup>wan/ the telephone number used in the US to call the police, fire or ambulance services in an emergency: (AmE) *Call 911.*
- 99** /<sub>1</sub>nainti <sup>1</sup>nain/ *noun* (BrE) an ice cream in a cone with a stick of chocolate in the top
- 999** /<sub>1</sub>nain nain <sup>1</sup>nain/ the telephone number used in Britain to call the police, fire or ambulance services in an emergency: (BrE) *Dial 999.*

---

# Symbols

---

=	equals; is the same as does not equal; is different from	‰	(on an envelope) care of. You address a letter to a person 'care of' sb else when the place you are sending it to is not their permanent home.
≈	is approximately equal to	£	pound sterling
>	is more than	\$	dollar
<	is less than	€	euro
∴	because	©	copyright
∴	therefore	ⓘ	information
✓	correct	Ⓟ	parking
✗	incorrect	♂	male
*	used to mark important points (called an <b>ASTERISK</b> )	♀	female
&	and (called an <b>AMPERSAND</b> )	♻	used on the packaging of products to show that they are made from recycled materials (= that have been used once then treated so that they can be used again) , or to show that they can be recycled after use
#	( <i>BrE</i> ) <b>HASH</b> ( <i>AmE</i> <b>POUND SIGN</b> ) the symbol used for example on telephones, and in addresses in the US		
"	<b>DITTO</b> ; the same word as above		
@	at		

---

# Pronunciation and phonetic symbols

---

The British pronunciations given are those of younger speakers of General British. This includes RP (Received Pronunciation) and a range of similar accents which are not strongly regional. The American pronunciations chosen are also as far as possible the most general (not associated with any particular region). If there is a difference between British and American pronunciations of a word, the British one is given first, with *AmE* before the American pronunciation.

## Consonants

p	pen	/pen/	s	see	/si:/	tʃ	chain	/tʃeɪn/	n	now	/naʊ/
b	bad	/bæd/	z	zoo	/zu:/	dʒ	jam	/dʒæm/	ŋ	sing	/sɪŋ/
t	tea	/ti:/	ʃ	shoe	/ʃu:/	f	fall	/fɔ:l/	l	leg	/leg/
d	did	/dɪd/	ʒ	vision	/ˈvɪʒn/	v	van	/væn/	r	red	/red/
k	cat	/kæt/	h	hat	/hæt/	θ	thin	/θɪn/	j	yes	/jes/
g	get	/get/	m	man	/mæn/	ð	this	/ðɪs/	w	wet	/wet/



The symbol (r) indicates that British pronunciation will have /r/ only if a vowel sound follows directly at the beginning of the next word, as in **far away**; otherwise the /r/ is omitted. For American English, all the /r/ sounds should be pronounced.

/x/ represents a fricative sound as in /lɒx/ for Scottish **loch**, Irish **lough**.

### Vowels and diphthongs

i:	see	/si:/
i	happy	/ <sup>1</sup> hæpi/
ɪ	sit	/sɪt/
e	ten	/ten/
æ	cat	/kæt/
ɑ:	father	/ <sup>1</sup> fɑ:ðə(r)/
ɒ	got	/gɒt/ (British English)
ɔ:	saw	/sɔ:/
ʊ	put	/pʊt/
u	actual	/ <sup>1</sup> æktʃuəl/
u:	too	/tu:/
ʌ	cup	/kʌp/
ɜ:	fur	/ <sup>1</sup> fɜ:(r)/
ə	about	/ə <sup>1</sup> baʊt/
eɪ	say	/seɪ/
əʊ	go	/gəʊ/ (British English)
oʊ	go	/goʊ/ (American English)
aɪ	my	/maɪ/
ɔɪ	boy	/bɔɪ/
aʊ	now	/naʊ/
ɪə	near	/ <sup>1</sup> nɪə(r)/ (British English)
eə	hair	/ <sup>1</sup> heə(r)/ (British English)
ʊə	pure	/ <sup>1</sup> pjʊə(r)/ (British English)

Many British speakers use /ɔ:/ instead of the diphthong /ɔə/, especially in common words, so that **sure** becomes /<sup>1</sup>ʃɔ:(r)/, etc.

The sound /ɒ/ does not occur in American English, and words which have this vowel in British pronunciation will instead have /ɑ:/ or /ɔ:/ in American English. For instance, **got** is /gɒt/ in British English, but /gɑ:t/ in American

English, while **dog** is British /dɒg/, American /dɔ:g/.

The three diphthongs /ɪə eə ʊə/ are found only in British English. In corresponding places, American English has a simple vowel followed by /r/, so **near** is /nɪr/, **hair** is /her/, and **pure** is /pjʊr/.

Nasalized vowels, marked with ~/, may be retained in certain words taken from French, as in **penchant** /<sup>1</sup>pɒ̃ʃɒ̃/, **coq au vin** /<sup>1</sup>kɒk əʊ<sup>1</sup>væ̃/.

### Syllabic consonants

The sounds /l/ and /n/ can often be 'syllabic' – that is, they can form a syllable by themselves without a vowel. There is a syllabic /l/ in the usual pronunciation of **middle** /<sup>1</sup>mɪdl/, and a syllabic /n/ in **sudden** /<sup>1</sup>sʌdn/.

### Weak vowels /i/ and /ɪ/

The sounds represented by /i:/ and /ɪ/ must always be made different, as in **heat** /hi:t/ compared with **hit** /hɪt/. The symbol /i/ represents a vowel that can be sounded as either /i:/ or /ɪ/, or as a sound which is a compromise between them. In a word such as **happy** /<sup>1</sup>hæpi/, younger speakers use a quality more like /i:/, but short in duration. When /i/ is followed by /ə/ the sequence can also be pronounced /jə/. So the word **dubious** can be /<sup>1</sup>dju:biəs/ or /<sup>1</sup>dju:bjəs/.

In the same way, the two vowels represented /u:/ and /ʊ/ must be kept distinct but /u/ represents a weak vowel that varies between them. If /u/ is followed directly by a consonant sound, it can also be pronounced as /ə/. So **stimulate** can be /<sup>1</sup>stɪmjuleɪt/ or /<sup>1</sup>stɪmjələɪt/.

## Weak forms and strong forms

Certain very common words, for example **at**, **and**, **for**, **can**, have two pronunciations. We give the usual (weak) pronunciation first. The second pronunciation (strong) must be used if the word is stressed, and also generally when the word is at the end of a sentence. For example:

*I'm waiting for /fə(r)/ a bus.*

*What are you waiting for /fɔ:(r)/?*

## Stress

The mark /<sup>1</sup>/ shows the main stress in a word. Compare **able** /<sup>1</sup>eɪbl/, stressed on the first syllable, with **ability** /ə<sup>1</sup>bɪləti/, stressed on the second. A stressed syllable is relatively loud, long in duration, said clearly and distinctly, and made noticeable by the pitch of the voice.

Longer words may have one or more secondary stresses coming before the main stress. These are marked with /<sub>1</sub>/ as in **abbreviation**

/ə<sub>1</sub>bri:vi<sup>1</sup>eɪʃn/, **agricultural** /<sub>1</sub>ægrɪ<sup>1</sup>kʌltʃərəl/. They feel like beats in a rhythm leading up to the main stress.

Weak stresses coming after the main stress in a word can sometimes be heard, but they are not marked in this dictionary.

When two words are put together in a phrase, the main stress in the first word may shift to the place of the secondary stress to avoid a clash between two stressed syllables next to each other. For instance, <sub>1</sub>**after**<sup>1</sup> **noon** has the main stress on **noon**, but in the phrase <sub>1</sub>**afternoon**<sup>1</sup> **tea** the stress on **noon** is missing.

<sub>1</sub>**Well**<sup>1</sup> **known** has the main stress on **known**, but in the phrase <sub>1</sub>**well-known**<sup>1</sup> **actor** the stress on **known** is missing.

## Stress in phrasal verbs

One type of phrasal verb has a single strong stress on the first word. Examples are <sup>1</sup>**come to sth**, <sup>1</sup>**go for sb**, <sup>1</sup>**look at sth**. This stress pattern is kept in all situations, and the second word is never stressed. If the second word is one which normally appears in a weak form, remember that the strong form must be used at the end of a phrase.

Another type of phrasal verb is shown with two stresses. The pattern shown in the dictionary, with the main stress on the second word, is the one which is used when the verb is said on its own, or when the verb as a whole is the last important word in a phrase:

*What time are you <sub>1</sub>coming <sup>1</sup>back?*

*He <sub>1</sub>made it <sup>1</sup>up.*

*<sub>1</sub>Fill them <sup>1</sup>in.*

But the speaker will put a strong stress on any other important word if it comes later than the verb. The stress on the second word of the verb is then weakened or lost, especially if it would otherwise be next to the other strong stress. This happens whether the important word which receives the strong stress is between the two parts of the phrasal verb, or after both of them.

*We <sub>1</sub>came back <sup>1</sup>early.*

*I <sub>1</sub>filled in a <sup>1</sup>form.*

*<sub>1</sub>Fill this <sup>1</sup>form in.*

If more than one stress pattern is possible, or the stress depends on the context, no stress is shown.

## Stress in idioms

Idioms are shown in the dictionary with at least one main stress unless more than one stress pattern is possible or the stress depends on the context. The learner should not change the position of this stress when speaking or the special meaning of the idiom may be lost.

### ***Tapping of /t/***

In American English, if a /t/ sound is between two vowels, and the second vowel is not stressed, the /t/ can be pronounced very quickly, and made voiced so that it is like a brief /d/ or the r-sound of certain languages.

Technically, the sound is a 'tap', and can be symbolised by /t̬/. So Americans can pronounce **potato** as /pə<sup>1</sup>tet̬əʊ/, tapping the second /t/ in the word (but not the first, because of the stress). British speakers don't generally do this.

The conditions for tapping also arise very frequently when words are put together, as in **not only, what I**, etc. In this case it doesn't matter whether the following vowel is stressed or not, and even British speakers can use taps in this situation, though they sound rather casual.

### ***The glottal stop***

In both British and American varieties of English, a /t/ which comes at the end of a word or syllable can often be pronounced as a glottal stop /ʔ/ (a silent gap produced by holding one's breath briefly) instead of a /t/. For this to happen, the next sound must not be a vowel or a syllabic /l/. So **football** can be /<sup>1</sup>fʊʔbɔ:l/ instead of /<sup>1</sup>fʊtbɔ:l/, and **button** can be /<sup>1</sup>bʌʔn/ instead of /<sup>1</sup>bʌtn/. But a glottal stop would not be used for the /t/ sounds in **bottle** or **better** because of the sounds which come afterwards.

---

# オックスフォードコンサイス類語辞典について

---

## Guide to the Thesaurus

---

### THE HEADWORDS

The text of the *Thesaurus* is organized under headwords, which are printed in bold type. The headwords are listed in strict alphabetical order. Many English words have two or more different acceptable spellings; in this book, the one used is the one regarded as being the most common. If two or more different forms are common, alternatives are given, for example:

**cagey, cagy** adjective guarded, secretive, noncommittal, cautious, chary, wary, careful, shrewd, wily.

However, alternatives are not listed in all such cases. For instance, in British English many words ending in *-ize* can also be spelled with an *-ise* ending. Variants of this type have not been included.

### PARTS OF SPEECH

Headwords are always followed by a label indicating the part of speech of the entry.

When a word has two or more different parts of speech, it is listed more than once with separate entries for each, for example:

**captive** noun *take*

*captives...* prisoner, prisoner-of-war, hostage....

**captive** adjective *captive animals*  
imprisoned, incarcerated, locked up....

The order of parts of speech is based on usage, with the most common placed first. Not all possible parts of speech of a word are necessarily included as headwords. For example, many words that function as adjectives can also function as adverbs. These are included only when they have useful sets of synonyms.

### HOMONYMS

Certain words have the same spelling but different meanings and different origins (etymologies). Such words, known as homonyms, are treated as separate headwords, even when they have the same part of speech. Homonym numbers are included in order to distinguish identical headwords with the same part of speech for the purposes of cross-referencing. For example:

**bank<sup>1</sup>** noun *a grassy bank* slope, rise, incline....

**bank<sup>2</sup>** verb *bank an aircraft* tilt, slope, slant....

**bank**<sup>3</sup> noun *borrow from the bank...high-street bank, clearing bank....*

**bank**<sup>4</sup> verb *bank the money*  
deposit, save, save up....

If the headwords are identical but the parts of speech differ, there can be no ambiguity in cross references so homonym numbers are not used. This does not necessarily imply that the different part-of-speech entries have the same etymology.

## THE ENTRIES

Each entry contains a list of words that are synonyms of the headword; i.e. the words can be used in place of the headword in most (although not all) contexts. When a word has more than one meaning, the different senses of the word are numbered. Example phrases (in italic type) indicate the particular sense and illustrate the use of the word. In some cases, two or more examples are given; these are separated by a vertical bar. For example:

**assimilate** verb **1** *assimilate food/facts* | *assimilate people into a group* absorb, take in, incorporate, digest, ingest. **2** *assimilate your way of life to theirs* adapt, adjust, accustom, acclimatize, accommodate, become like/similar, blend in, fit, homogenize.

Note that a solidus (/) is used to separate alternative words in order to save space. The solidus applies only to the two words it separates; thus 'assimilate food/facts' can be read as 'assimilate food' and 'assimilate facts'.

## GROUPS WITHIN SENSES

In general, the synonyms in an entry are separated by commas. However, there are cases in which the words fall naturally into two or more distinct groups, which are separated by a semicolon. There are various reasons for subdividing a sense in this way:

- **grammatical differences** Some of the words may function in a different way from others, for example:

**briefing**... *recruits being given their briefing* brief, information, guidance, preparation; instructions, directions....

In this case the words *instructions* and *directions* have been grouped separately because they are plural nouns. There are other grammatical reasons why synonyms may be split into groups. For example, the headword may function as both a transitive and intransitive verb, whereas some of the synonyms may be intransitive only.

- **informal words** Words that are not used in standard formal English have been grouped at the end of lists and given the label *inf.* No distinction is made between colloquial, informal, and slang levels of usage. For example:

**babble** verb... jabber, gibber, gabble, burble, chatter, mutter, mumble, prate, drivel, bleat, cackle; *inf.* rabbit, waffle, run on.

The label *inf.* applies to all the words following in the group.

• **restricted usage** Synonyms have been separated into labelled groups when they are used in different regions or in particular fields. For example:

**baby** noun *holding a tiny baby*  
infant, newborn, child, babe, tiny  
tot; *inf* sprog; *Scots* bairn; *Med.*  
neonate.

A list of labels used in the *Thesaurus* is given later.

## SUB-ENTRIES

Verb phrases are included as sub-entries under a main entry. For example:

**call**... *call out in pain* cry, cry out, shout, exclaim... **call for this** *calls for a celebration*... need, require, be grounds for... **call off** *call off the dogs* order off. order away...

## CROSS-REFERENCES

Cross-reference to main entries is indicated by small capitals. Where necessary, the part of speech and sense number are also given. For example:

**barbaric** adjective.... *See*  
BARBARIAN adjective **1**

## TABLES

Tables have been included throughout the book to give additional information for certain entries. These typically consist of lists of words that, while not strictly synonyms of the headword, are associated with it in some way. For example, at **dam** a table of notable dams is given; at **knife** a list of types of knife is shown.

References to the tables are given at the ends of entries. For example:

**dam** noun *a river dam*... *See table.*  
**machete** noun... *See table at*  
KNIFE.

Certain headwords only refer to tables, i.e. there are no synonyms given. For example;

**ballet** noun. *See table.*

## ANTONYMS

Many entries contain a list of opposites. For example:

**dally** verb...  
**Opposites** HURRY: HASTEN.

Words in small capitals are cross-references to other entries.

---

# Abbreviations

---

The following labels have been used in the text:

<i>Am.</i>	American
<i>Austral.</i>	Australian
<i>dial.</i>	dialect
<i>fml.</i>	formal
<i>inf.</i>	informal
<i>lit.</i>	literary
<i>Med.</i>	Medicine
<i>Tech.</i>	Technical fields
<i>vulg.</i>	vulgar

Abbreviations for nationalities:

Afk.	Afrikaans
Afr.	African
Am.	American
Arab.	Arabic
Austral.	Australian
Belg.	Belgian
Brit.	British
Bulg.	Bulgarian
Can.	Canadian
Cz.	Czech
Da.	Danish
Du.	Dutch
Egypt.	Egyptian
Engl.	English
Flem.	Flemish
Finn.	Finnish
Fr.	French
Ger.	German
Gk.	Greek
Icel.	Icelandic
Ind.	Indian
Ir.	Irish
It.	Italian

Jap.	Japanese
Mex.	Mexican
Norw.	Norwegian
NZ.	New Zealand
Pers.	Persian
Pol.	Polish
Port.	Portuguese
Rom.	Roman
Russ.	Russian
S. Afr.	South African
S. Am.	South American
Scot.	Scottish
Sp.	Spanish
Sw.	Swedish
Turk.	Turkish

# 最新 ビジネス英語スーパー辞典

## 英和・和英について

### 1) 見出語

- a. 配列はアルファベット順とした。
- b. つづり字は基本的に米式表記を採用した。
- c. 同一のつづり字で意味が異なる見出語は、各見出語の右肩に番号を付けて区別した。
- d. 数字を含む見出語の配列は、それを数詞に読み替えた場合の順序に従った。(例：S&P 500 → S and P five hundred)。
- e. 略語の表記は一般的なものを採用した。
- f. 一般に複数形で使用されることが多い見出語は、複数形で表示し、訳語の前に【複】を付けた。
- g. 特に難読語と思われる見出語については、その直後に発音記号を記載した。

### 2) 訳語

同一見出語に異なる品詞の訳語がある場合は、動詞、名詞、その他、の記載順とした。

### 3) 解説

見出語に解説を付す際には、冒頭に《解説》を付け、その見出語の語義や使い方などを説明した。

### 4) コロケーション

見出語のコロケーション（見出語とともによく使われる形容詞・動詞・前置詞などの組み合わせを示したもの）を示す際には、冒頭に《コロ》を付けて記載した。見出語部分とそれに付随する冠詞類は細字で示し、他の部分（太字の部分）によるアルファベット順で配列した。

### 5) 複合語

見出語の複合語（見出語を用いた複合名詞や名詞句）を示す際には、冒頭に《複合》を付け、アルファベット順に記載した。



## 6) 例文

見出語・コロケーション・複合語を使用した例文およびその日本語訳を示す際には、冒頭に → を付け、該当する表現および解説の後に置いた。

## 7) 記号類

【複】複数形で用いる場合が多いことを示す。

【米】主にアメリカで使われることを示す。該当する語の表記は米国式を採用。

【英】主にイギリスで使われることを示す。該当する語の表記は英国式を採用。

【豪】主にオーストラリアで使われることを示す。

【加】主にカナダで使われることを示す。

【日】日本の機関などの名称、もしくは日本独自の概念の英訳であることを示す。

【仏】フランス語であることを示す。

【伊】イタリア語であることを示す。

【独】ドイツ語であることを示す。

【反】見出語と対になる語であることを示す。

<cf> 見出語に関連した参照語であることを示す。

*sth.* something の意で、物・会社などに相当する言葉が入ることを示す。

*sb.* somebody の意で、人を表す言葉が入ることを示す。

【事物】*sth.* に対応する訳語が当てはまることを示す。

【人】*sb.* に対応する訳語が当てはまることを示す。

## 8) 逆引辞典 (和英辞書機能)

逆引一覧を掲載し、全見出語のすべての訳語から、該当する英語表現を検索できるようにした。

# ビジネス技術 実用英語大辞典

## 英和・和英 第4版について

### ■本文内容について

#### ●収録数

- (1) 英和見出しは約20,000語、和英見出しは約22,500語を収録しています。
- (2) 用例は英和に83,000件、和英に85,000件以上を収録しています。(用例については英和/和英で重複しているものがあります)

#### ●見出し(英和)

- (1) 配列はアルファベット順とし、ハイフンその他の記号類は無視しました。
- (2) 見出し語の略語または展開形は、見出し語の後に ( ) で示しています。
- (3) 米国と英国でつづりが異なる場合は、米国式を優先させました。英国式は、米国式の後に併記するか、または参照見出しとしました。
- (4) 全く異なった意味を持つものでも、つづりが同じ場合(例: mean) は一つの見出しにして、意味の違いは語義番号で区別しました。
- (5) つづりの最後に s が付くものと付かないものとで意味が異なる場合は、適宜、別の見出しを立てました。

#### ●見出し(和英)

- (1) 配列は五十音順とし、さらに次のような基準で配列しました。
  - 清音、半濁音、濁音の順にとする
  - 促音の「っ」拗音の「ゃ」「ゅ」「ょ」は、それぞれ「つ」「や」「よ」「ゆ」の前とする
  - カタカナの長音記号「ー」は、直前の文字の母音と同じとして扱う  
ピーアール → ピアアル  
ソート → ソオト
  - 小字の「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」は「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」の前とする
  - 常に他の語と連なって用いられる接頭語、接尾語、助詞などは、他の語の位置をダッシュで表わし、ダッシュをもつ語はダッシュをもたない語の後に配列する
- (2) ひらがなの後に【】で漢字かな交じりの表記を示しました。通常はひらがなで表記される語でも、同音異義語との区別を明確にするために、漢字表記を示したものが 있습니다。

- (3) 通常英字で表記される語について、まずはカタカナで読みを示し、その後に【】で英字表記を示しました。

### ●品詞・語義分類と子見出し(英和)

- (1) 品詞または語義による分類は、必要最低限の範囲で1, 2, 3...の語義番号を付けて区別しています。品詞や語義上では分類の必要があっても用例がほとんど無い見出しについては、区分していません。
- (2) それぞれの品詞別に語義番号を1, 2, 3...と振るのではなく、例えば語義番号の1と2は名詞、3は動詞、などのように分けました。
- (3) 品詞については、原則として名詞と動詞は語義番号を分けています。しかし、名詞と形容詞はしばしば同じ区分にまとめています。また、用例がほとんど無い見出しについては名詞と動詞の区分もしていません。
- (4) 子見出しは、それぞれの語義分類の下ではなく、最後の語義分類の後に配置しました。
- (5) 熟語動詞(例: take up)は動詞(take)の子見出しとしていますが、その名詞形(take-up)は単独の見出しとして立てました。
- (6) 訳語間はカンマ「,」で区切り、文法的な扱いが異なるときや、意味が大きく異なるときはセミコロン「;」で区切っています。

### ●品詞・語義分類と子見出し(和英)

- (1) いくつかの全く異なった語義を持つ見出しと、用例が多くて整理する必要がある見出しについては、必要最低限の範囲で1, 2, 3...を用いて語義分類しています。
- (2) 子見出しは、それぞれの語義分類の下ではなく、最後の語義分類の後ろに配置しました。
- (3) 語義分類した語義には、その定義を〔 〕で示しています。同じ語義番号の下に〔 〕が複数続くときはセミコロン「;」で区切りました。

### ●品詞

品詞情報は、必要に応じて以下のように表示しました。

- n. 名詞(ただし、ほとんどの場合、名詞に関する情報を示すa~, ~s, the~, **U**などをn.の代用として使用)
- adj. 形容詞
- adv. 副詞
- v. 動詞
- vi. 自動詞
- vt. 他動詞
- prep. 前置詞
- pron. 代名詞
- conj. 接続詞
- interj. 間投詞、感嘆詞

## ●名詞(英和のみ)

a~, an~	可算. または常に単数形だが不定冠詞を冠する
U, 無表記	不可算
~s, ~es, -ies	通例複数形
(pl. )	複数形の綴りを示す
((単のみ))	常に単数形 (a~, an~の)
((単扱い))	単数扱い
((複扱い))	複数扱い
((単/複扱い))	単数扱いまたは複数扱い

## ●記号の使い方

【 】 和英見出しのひらがな表記に続く、漢字かな交じり表記を囲む。

例 さかのぼる【遡る】

[ ] 和英見出しの語義分類の定義説明を囲む。

〈 〉 当該の表現が用いられる分野や話題、状況を示す。

例 〈カメラ〉〈印刷〉など

省略されているもの

〈CG〉コンピュータグラフィックス	〈AV〉音響映像(機器)
〈OA〉OA(機器)	〈コンピユ〉コンピュータ
〈コン通〉コンピュータ通信	〈通〉通信
〈光通〉光通信	〈スポ〉スポーツ
〈ビジ〉ビジネス	〈遺伝工〉遺伝子(工学)
〈宇〉宇宙(開発)	〈株〉株式(市場)
〈軍〉軍事	〈史〉歴史
〈自〉自動車	〈社〉社会(学)
〈植〉植物(学)	〈心〉心理学
〈商〉商学, 商業	〈農〉農学, 農業
〈半導〉半導体	〈品質〉品質管理
〈物〉物理(学)	〈流体〉流体力学

(( )) 文法的情報、その他のことわり書きを囲む。

例 ((商標名)), ((通例 the ~)), ((単のみ)) (常に単数形), ((複扱い)) (複数扱い), ((比喩的)), ((意識)), ((直訳))

((口)) (口語だけでた表現), ((俗)) (俗語)

((米)) (American English), ((英)) (British English)

⓪ 名詞が不加算であることを示す。

→, (字) 参照してほしい他の見出し語を示す。

↔ 反対語、対照語、対をなす語を示す。

— 常に他の語と連なって用いられる日本語につける。

例 一化

▶ 用法注記。語の使い方、意味、間違いやすい点、文法的情報など。

(\*) 注。専門的な用語の辞典的な略解、または個々の用例の状況説明や補足。

◆ 各用例・文例の冒頭。

【参考】この記号以降は、見出し語を用いた用例ではなく、参考用であることを示す。

◇ 各参考用例の区切り。

； 1) 訳語の並記においてカンマ(,)より大きな区切りを示す。

2) 用例において並記(言い替え)を区切る。

( ) 1) 直前の語の展開形、略記形または複数形を囲む。

例 random access memory (RAM)

CAD (computer-aided design)

a BBS (*pl.* BBSes)

2) 読みにくい漢字や、ローマ字で表記される語の読みを囲む。

例 UNIX (ユニックス)

3) 省略可能な部分を囲む。

4) 補足、注を囲む。

[ ] [ ] 内は直前の表現と言い替えられる。

例 get [gain] access

(get accessでもgain accessでもよい)

～ 1) 英語見出し(名詞)の冠詞情報や複数形を示すときに、見出し語の代わりとして用いられている。

例 a ～, the ～, ～s, ～es

2) 和文で省略部分を表わす。

… 英文の省略部分を表わす(和訳分の～に相当)

例 exert an effect on…

～に影響を及ぼす

< > 英文中で、動詞や名詞と共に用いられる前置詞や副詞を示す。

例 及ぶ extend <to>

< 〉 和文中で、主語や目的語などがどのような種類のものであるかを示す。

例 <光>をさえぎる

<do>, <do…> 動詞の原型で始まる動詞句を表わす。

例 Plant to <do…>

# アクティブ英語会話表現辞典について

## 記号類

- 〔 〕「参照せよ」
  - 同意語句が参照できる。
- 【 】「語義区分」
  - 見出し語が多義にわたり、その意味の違いを示す必要のあると思われる場合【 】で示した。
- [ ]
  - 直前の語句との入れ換え可能を示す。
- 「
  - その後に来る[ ]内の語句との入れ換え位置を示す。ただし1語対1語の入れ換えや、冒頭部分からの入れ換えなど分かりやすいものについては省略した。
- ( )
  - 省略可能、意味の補足あるいは注記を示す。
- =
  - 前後のセンテンスの入れ換え可能を示す。
- ||
  - 発言の意味内容が前文と異なる場合、それぞれのセンテンスの区分を示す。

# 世界の料理・メニュー辞典（6ヶ国編）について

## この辞典の使いかた

### ■ 本辞典の構成

各国は次のような流れで説明されている。

〈各国料理の解説〉

〈各国内の地域別の特色、レストラン事情など〉

〈メニュー例〉

〈料理辞典〉

実際の手順は、

- ① レストランなどに行く前に、各国料理の解説を参考にして注文すべき候補をメニュー例から選んでおく
- ② 実際に料理が出されてわからないときは、メニュー例と料理辞典で探す、ということになるだろう。

### ■ 発音表記について

本辞典の発音は、カタカナで便宜的に示した。各国語をできるだけ原音に近く表記するにはつとめたが、日本語にない音をどうするかなどの大問題もあり、いくらかの矛盾・不統一・原音との相違などは避けられない。

- 料理用語・素材名・国名・地名などは、BとVの日本語表記をできるだけ区別するようにし、Bは「は行」の濁音（バなど）、Vは「あ行」の濁音（ヴ）とした。一般の用語については、この表記ではなく、慣用的表記に従ったものもある。スペイン語は、「あ行」の濁音を用いない慣用になっているので、Vでも「は行」の濁音となっている。
- 複合語からなる原語の日本語の表記は、強いて原語と一致させたり、原則を設けて当てはめるより、適宜単語間に「・」や空きを入れたり、省いたりして読みやすいようにしてある。
- 解説文のなかでは、日本で一般的に呼称されている料理用語を用いているが、例外的に現地の発音で表記すべきところでは、現地の発音を採用している。それも各担当執筆者の判断によっているので、必ずしも統一された表記とはなっていない。

## ■ 料理用語について

本文中の料理用語には、できるだけ原語を付記し、現地の料理用語になじめるようにつとめた。とくに、発音表記 ([ ]で示した) のないものは、各国の料理辞典で確認されたい。

名詞などは、おおむね大文字で表記してある。

## ■ 料理辞典と凡例

料理辞典の見出し語は、各国語を知らない人でも引きやすいように、アクセント記号のあるアルファベットも記号のないものと区別しない配列とした。各国の特殊な原語事情は、必要最小限「凡例」に示すことにとどめた。



# 現代新語情報辞典 第4版について

## この辞典の使い方

本辞典は、できるだけ辞典の決まりを意識しなくても引けるように心がけた。しかし、必要最小限の取り決めと、スペース節約のための約束事があるのでまとめておく。

### 見出し語の配列

1. カタカナから漢字、数字、アルファベットまですべて50音順に変えた読みで配列した。

(例) **新エンゼルプラン**→しんえんぜるぷらん

**4WD**→よんだぶりゅーでいー

**401k**→よんまるいちけー

2. カタカナの長音符(ー)は、それぞれ「ア」行の音に置き換えた位置に配列した。

(例) **ダービーマッチ**→ダ**ア**ビイマッチ

**ムーディーズ**→ム**ウ**ディイズ

**ケータイ**→ケ**エ**タイ

**ロールプレイング**→ロ**オ**ルプレイング

### カタカナ語の表記

1. カタカナの表記は内閣告示「外来語の表記」の趣旨に原則としてしたがいがながら、新聞など一般によく使われている表記を用いた。
2. 工行の長音「エー」と「エイ」は、両方の表記がともに用いられているが、先の基準にしたがって、「エー」で表記した。ただし、慣用として「エイ」が一般的な場合は、それを用いたものもある。

(例) **メインフレーム**

**リメイク**

3. vの音は、商標など一部の固有名詞以外は、「ヴ」を用いず「バ」行を用いた。

(例) **ビジュアル系** [visual -]

**ボランチ** [volante (ポルトガル)]

4. 原音のdiやtiには「ジ」「ディ」「チ」「ティ」のそれぞれ2通りの表記があるが、慣用にしがった。  
 (例) **ルーチン・ワーク** [routine work]  
**ディーゼル・エンジン** [diesel engine]
5. 語末の長音は、技術関係用語では省略されることが多いが、長音のままとした。  
 (例) **コンピューター** (×コンピュータ)  
**デコーダー** (×デコーダ)
6. 複合語は、原語がわかれている場合にだけ、・を用いて表記した。原語がハイフンで結ばれた語では・を置かなかった。また、極端に省略された形で使われている語は・を置かずに示した。  
 (例) **ノニル・フェノール** [nonyl phenol]  
**メゾスコピック** [mezzo-scopic]  
**セクハラ** [sexual harassment]
7. 原語は見出し語の直後に [ ] にくくって入れた。和製語については、「和」の表記をつづりの後に示した。  
 (例) **ロンドン・ブーツ** [London boots 和]

## 語義と記号

### 1. 語義

複数の意味があるものは①②③…を用いて示した。

(例) **サイト**①場所。用地。②ネットワークで結ばれた一群の情報を保有する地域……。

### 2. 記号

●…主として補足的な数値データや年代などを示した。

(例) ●日本では1993年11月からNTTが開始。

●1998年中央省庁等改革基本法成立。2001年1月より新体制がスタートした。

◆…特記事項、類語解説などを必要に応じて示した。

(例) ◆ドイツやフランスで採用され、北欧では陪審と参審を併用している国もある。

◆発見者のドイツ人医師の名から。

\*…同義語，訳語，略語，記号などを示した。

(例) \*オープン・プライスともいう。

\*TSと略す。

⇨…見出し語とその語が同義であり，その語で説明がなされていることを示した。

(例) **CNG車** ⇨圧縮天然ガス車。

**省庁再編** ⇨中央省庁再編。

→…関連語，および参照語を示した。

(例) **COP**……→気候変動枠組み条約。

**シェアウエア**……→フリーウエア。

【 】…原義や他の外国語での表記など，原語上での注記を与えた。

(例) 【土壇場+cancelから】

【bannerは「旗」の意】

本文中の太字…表記が異なる語のうち，50音順配列で見出し語の位置とごく近くにある語については，検索の便のため，\*の記号のもとに太字で示した。

(例) **ペスカトーレ**……\*ペスカトーラともいう。

## アルファベット略語

1. 巻末にアルファベット文字による略語を収録した。

2. 略語表記は，ピリオドがついたりつかなかったりするが，本辞典では原則としてピリオドを省略した。

3. 配列はアルファベット順にし，漢字やひらがな，カタカナは語順の上では無視した。ただし，同じアルファベットに漢字やカナがつくときはその読みの50音順とした。また，数字は原則として読まないこととし，数の大小をもとに配列した。

4. アルファベット以外の読み方ができるものは，( )でくくって示した。

(例) Web (ウェブ) サイト

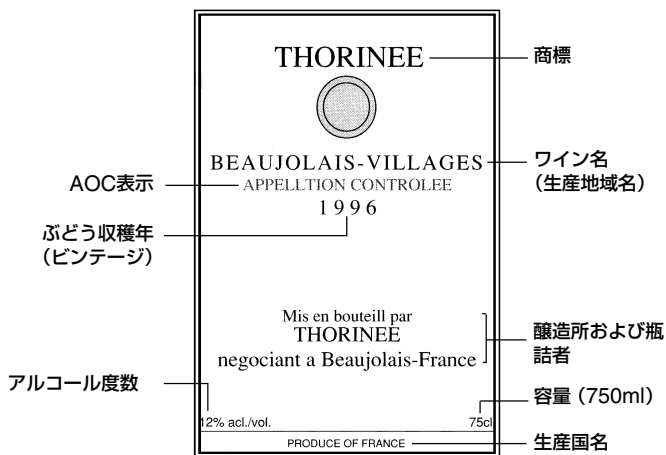
# ワインコンパニオン

## 目次

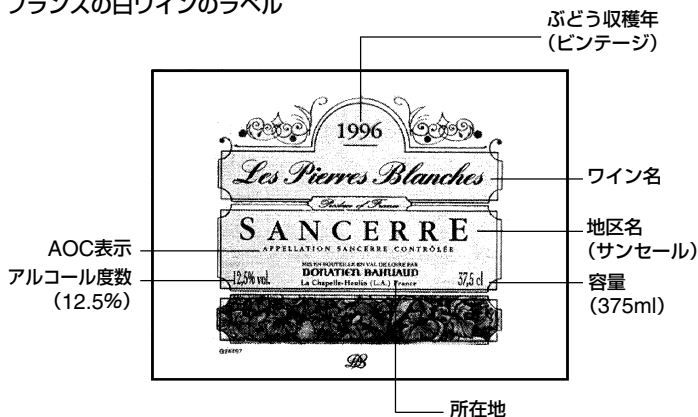
フランスワインのラベルの読み方 .....	101
ドイツワインのラベルの読み方 .....	102
イタリアワインのラベルの読み方 .....	102
スペインワインのラベルの読み方 .....	103
ブルガリアワインのラベルの読み方 .....	104
アメリカワインのラベルの読み方 .....	105
チリワインのラベルの読み方 .....	106
オーストラリアワインのラベルの読み方 .....	107
南アフリカワインのラベルの読み方 .....	108

## ● フランスワインのラベルの読み方

(AOCワイン)

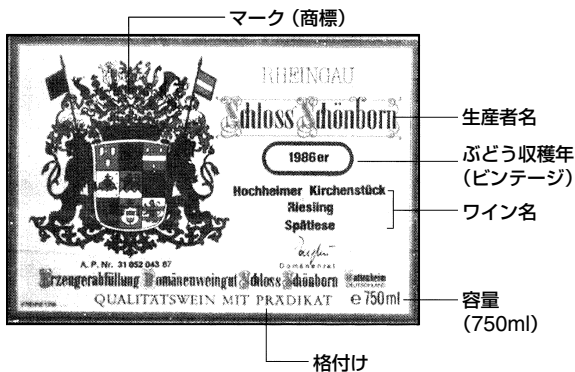


フランスの白ワインのラベル



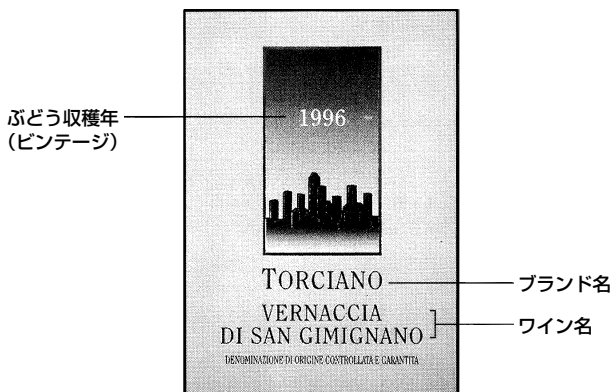
## ● ドイツワインのラベルの読み方

### ドイツの白ワインのラベル

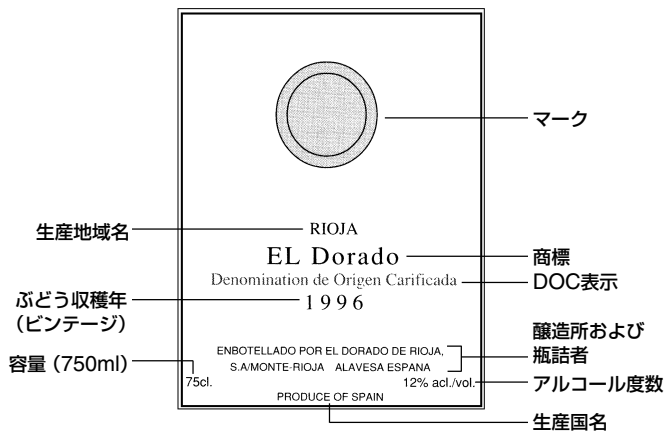


## ● イタリアワインのラベルの読み方

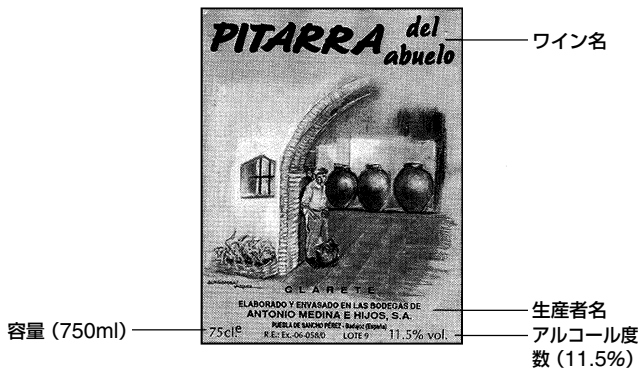
### イタリアの赤ワインのラベル



● スペインワインのラベルの読み方



スペインの赤ワインのラベル (テーブルワイン)



## ● ブルガリアワインのラベルの読み方

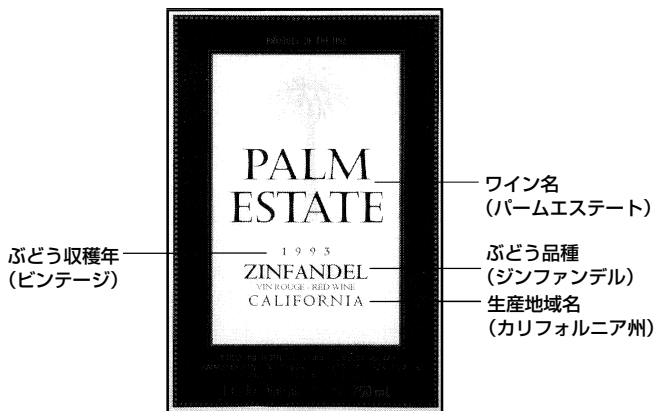
### ブルガリアの赤ワインのラベル



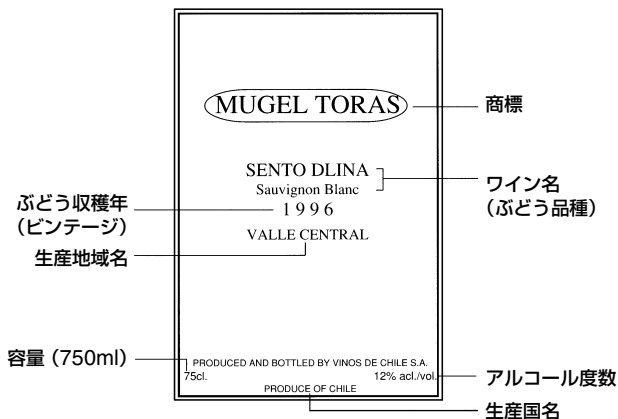


## ● アメリカワインのラベルの読み方

### カリフォルニアの赤ワインのラベル



● チリワインのラベルの読み方

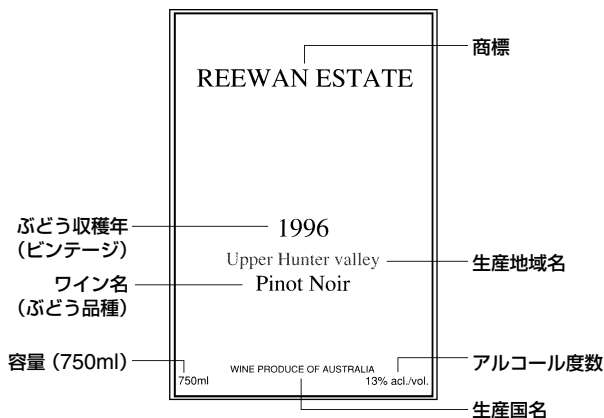


チリの赤ワインのラベル

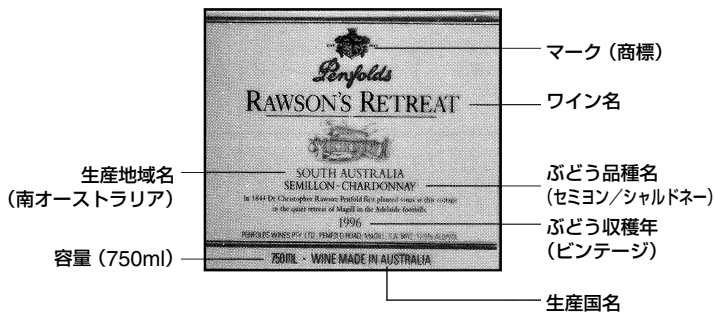


## ● オーストラリアワインのラベルの読み方

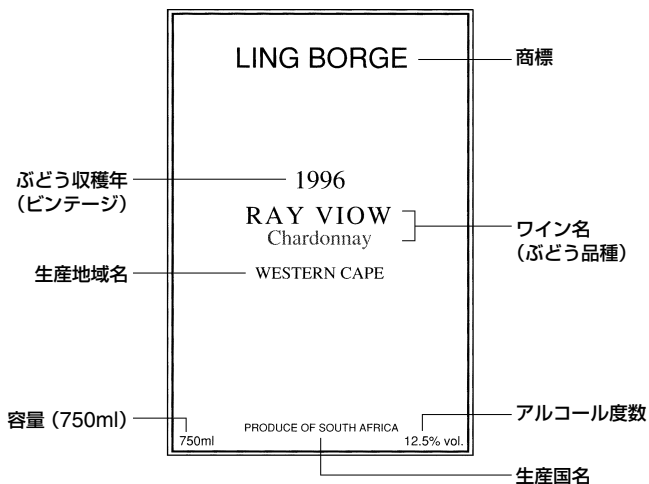
(ヴァラエタルワイン)



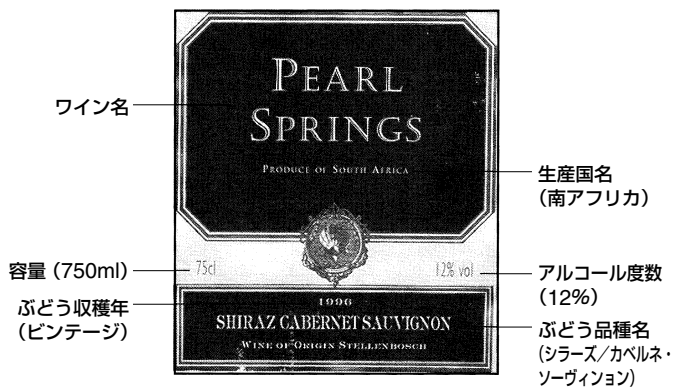
## オーストラリアの白ワインのラベル



● 南アフリカワインのラベルの読み方



南アフリカの赤ワインのラベル









## お取り扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。  
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

## お客様ご相談センター

● ナビダイヤル\*.....  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は\*..... 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX..... 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

\*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。  
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。  
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1：修理受付
- 2：使用方法や故障と思われるご相談
- 3：お買物相談
- 4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区区北品川 6-7-35

<http://www.sony.co.jp/>



この説明書はVOC（揮発性有機化合物）  
ゼロ植物油型インキを使用しています。